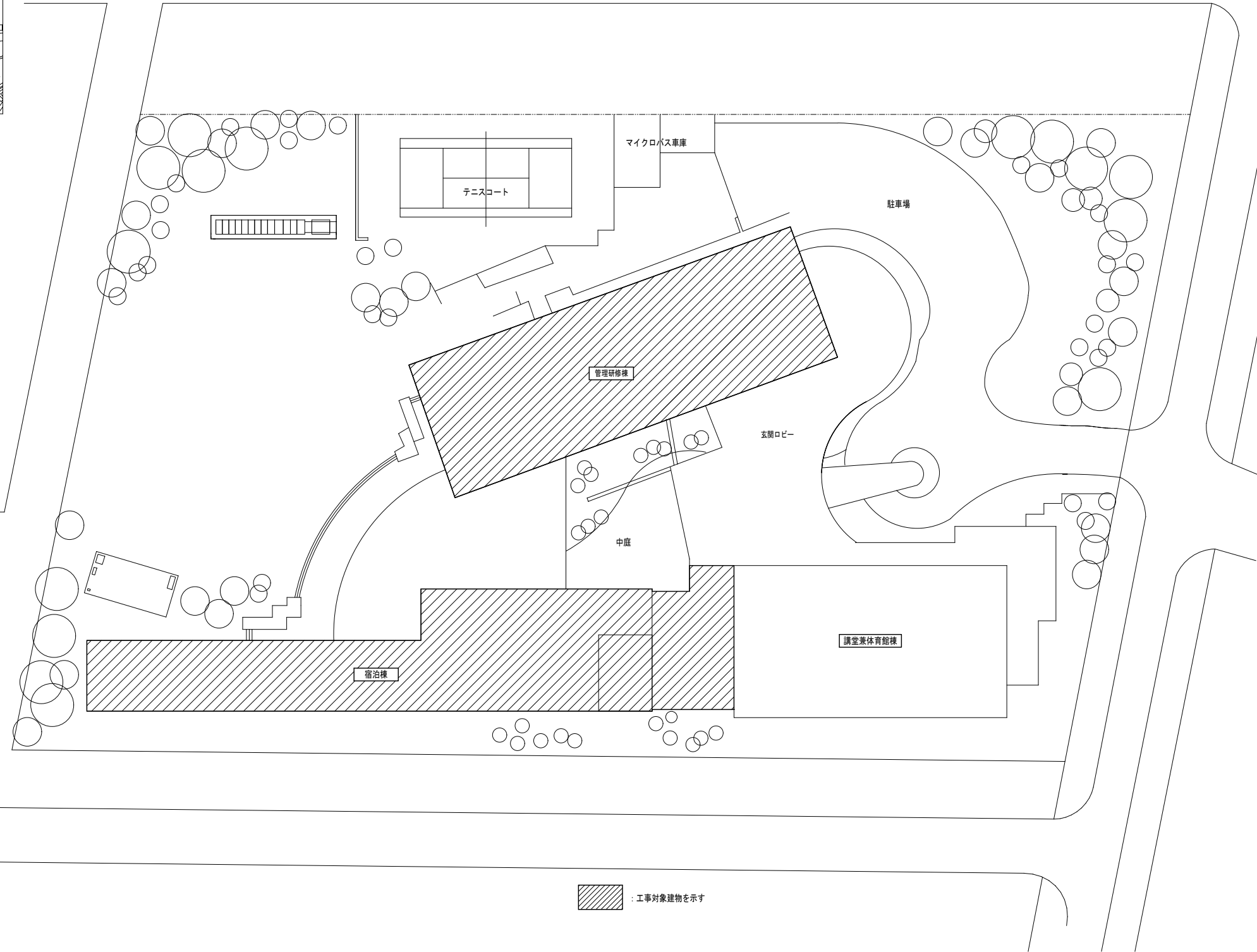
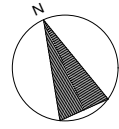
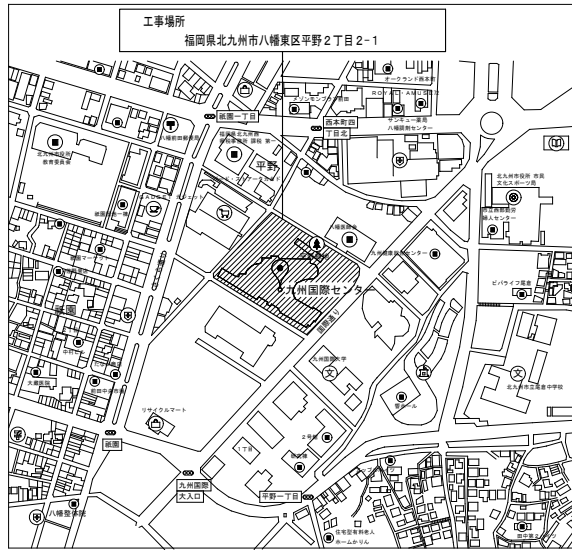



九州センター空調設備更新工事

図面リスト					
図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
共-00	表紙・図面リスト	—	A-01	【宿泊棟】 天井改修 1階平面図 (改修後)・(撤去)	A1:1/100 A3:1/200
共-01	全体 配置図・案内図	A1:1/300 A3:1/600	A-02	【管理研修棟】天井改修 1階平面図 (改修後)・(撤去)	A1:1/100 A3:1/200
共-02	管理研修棟 建物断面図	A1:1/50 A3:1/100			
共-03	宿泊棟 建物断面図	A1:1/50 A3:1/100	E-01	電気工事特記事項	—
			E-02	【管理研修棟】動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後)	A1:1/100 A3:1/200
M-01	機械工事特記事項(1)	—	E-03	【宿泊棟】動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後)	A1:1/100 A3:1/200
M-02	機械工事特記事項(2)	—	E-04	【宿泊棟】分電盤結線図 (改修後)	—
M-03	【宿泊棟・管理研修棟】空調設備 機器明細表 (改修後)	—	E-05	【管理研修棟】動力設備(空調電源) 1階平面図 (撤去)	A1:1/100 A3:1/200
M-04	【宿泊棟・管理研修棟】空調設備 配管系統図 (改修後)	—	E-06	【宿泊棟】動力設備(空調電源) 1階平面図 (撤去)	A1:1/100 A3:1/200
M-05	【宿泊棟】空調設備 1階平面図(配管) (改修後)	A1:1/100 A3:1/200	E-07	【宿泊棟】分電盤結線図 (撤去)	—
M-06	【宿泊棟】空調設備 1階平面図(ダクト) (改修後)	A1:1/100 A3:1/200			
M-07	【宿泊棟】空調設備 1階機械室詳細図 (改修後)	A1:1/30 A3:1/60			
M-08	【宿泊棟】中央監視設備 管理点数表 自動制御設備 計装図・機械室詳細図 (改修後)	A1:1/30 A3:1/60			
M-09	【宿泊棟】自動制御設備 1階平面図 (改修後)	A1:1/100 A3:1/200			
M-10	【管理研修棟】空調設備 1階平面図 (改修後)	A1:1/100 A3:1/200			
M-11	【管理研修棟】自動制御設備 1階平面図 (改修後)	A1:1/100 A3:1/200			
M-12	【宿泊棟・管理研修棟】空調設備 機器明細表 (撤去)	—			
M-13	【宿泊棟・管理研修棟】空調設備 配管系統図 (撤去)	—			
M-14	【宿泊棟】空調設備 1階平面図(配管) (撤去)	A1:1/100 A3:1/200			
M-15	【宿泊棟】空調設備 1階平面図(ダクト) (撤去)	A1:1/100 A3:1/200			
M-16	【宿泊棟】空調設備 1階機械室詳細図 (撤去)	A1:1/30 A3:1/60			
M-17	【管理研修棟】空調設備 1階平面図 (撤去)	A1:1/100 A3:1/200			

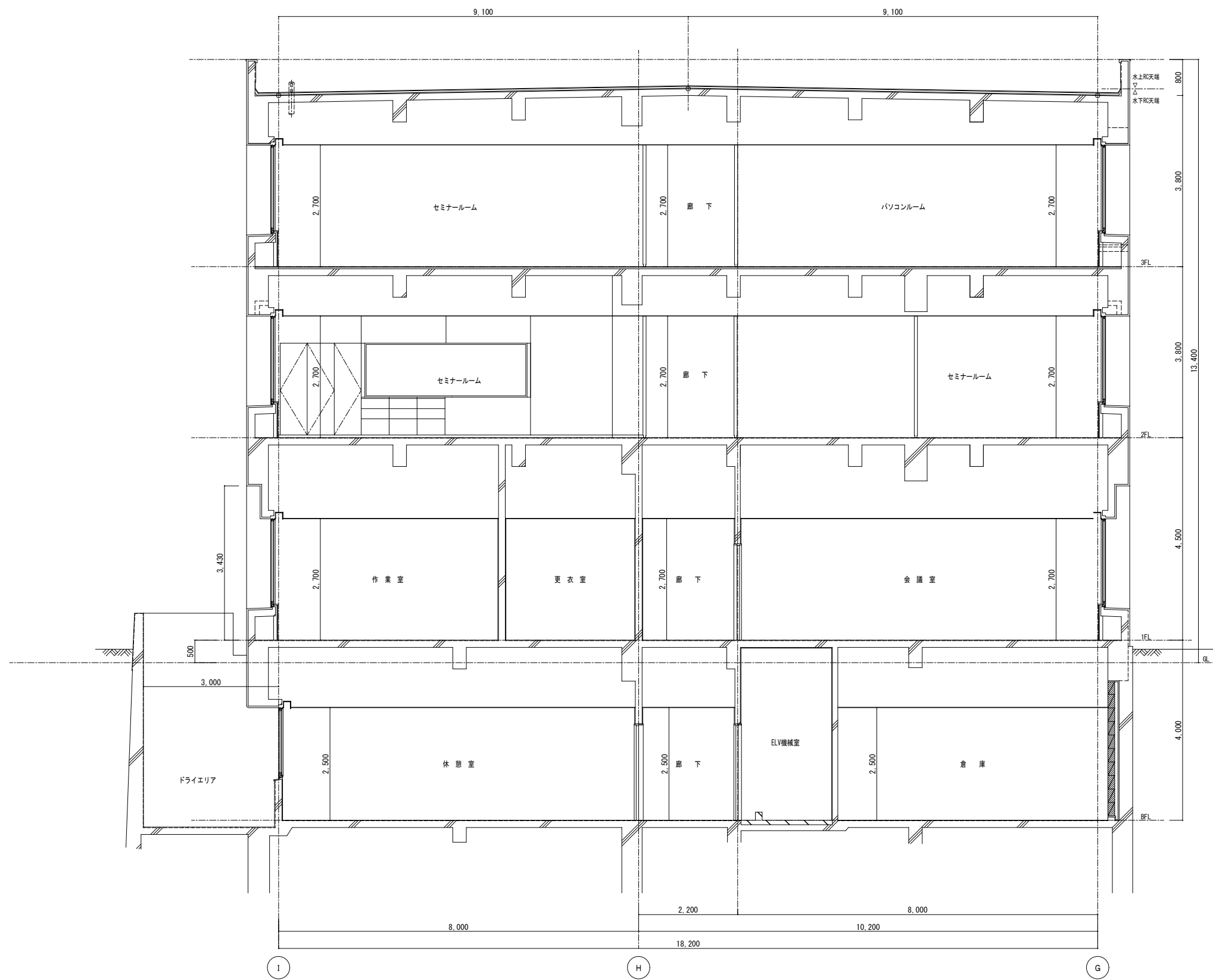
受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	共-00
業務完了年月日	令和 2年 月 日	管理技術者	技術者	製図	図面名	表紙・図面リスト	縮尺
						九州センター	—
							令和 年 月



 : 工事対象建物を示す

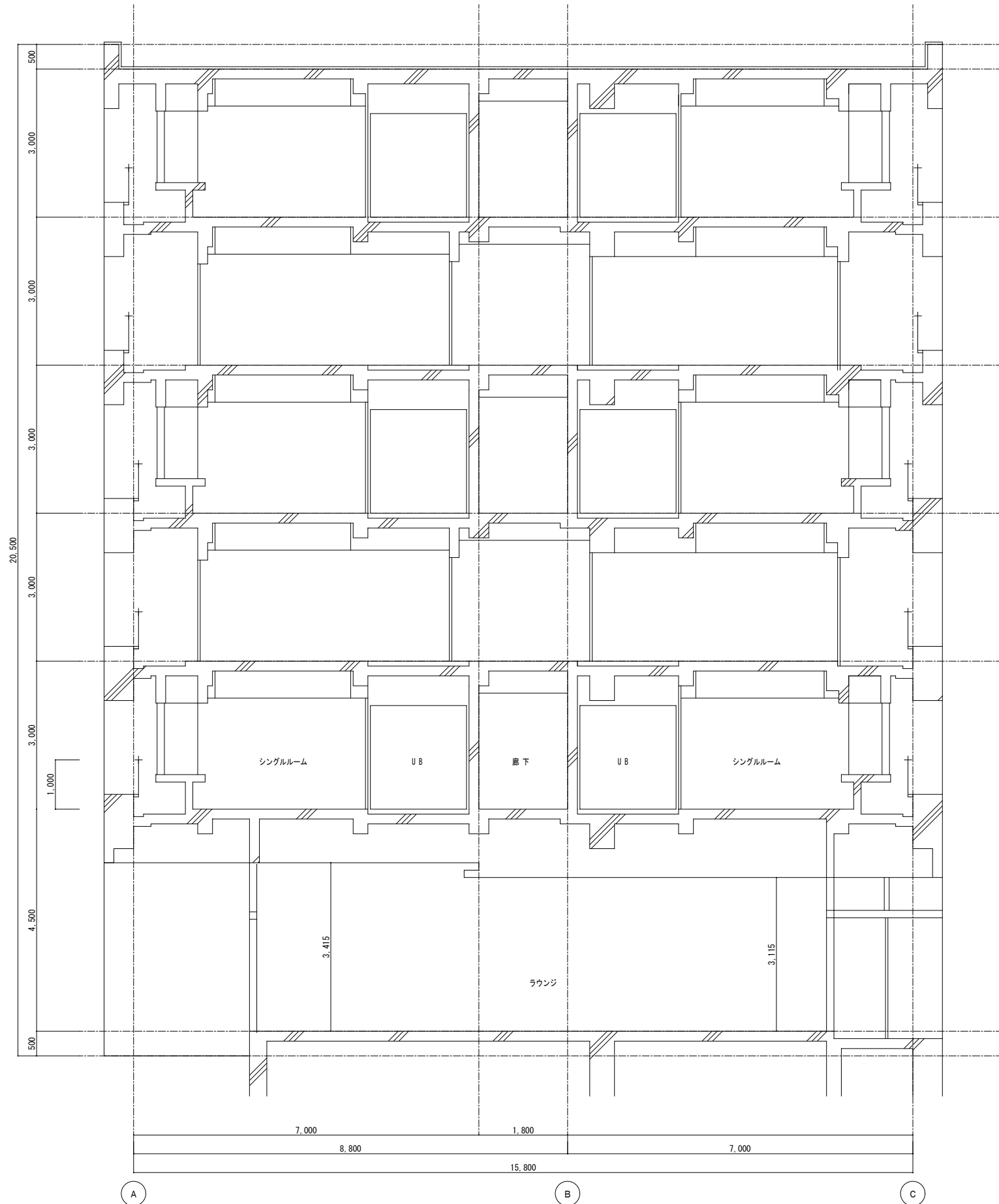
全体配置図 A1: S=1/300
A3: S=1/600

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面	共-01
業務完了年月日	令和2年	月	日	番号	
管理技術者	技術者	製図		図面	尺
				名称	A1: S=1/300 A3: S=1/600
				名称	九州センター
					令和 年 月



管理研修棟 建物断面図
 A1: S=1/50
 A3: S=1/100

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面 番号	共-02
業務完了年月日	令和2年	月	日	図面 名称	管理研修棟 建物断面図
管理技術者	技術者	製図		縮尺	A1: S=1/50 A3: S=1/100
				九州センター	令和 年 月



宿舎棟 建物断面図 A1: S=1/50 A3: S=1/100

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面 番号	共-03
業務完了年月日	令和2年	月	日	工 事 名 称	九州センター 空調設備更新工事
管理技術者	技 術 者	製 図	製 図	図 面 名 称	宿舎棟 建物断面図
					A1: S=1/50 A3: S=1/100
				九州センター	令和 年 月

14 受給水設備
15 浄化槽
※加圧給水ポンプ（住宅物件）の仕様については、加圧給水ポンプユニット仕様書（国土交通省仕様）による。
※浄化槽仕様書による。

16 保温仕様
給排水衛生設備
管類
表: 施工箇所 保温種別 区分
表: 施工箇所 保温種別 区分

空調設備工事(冷暖水)管
表: 施工箇所 保温種別 区分
表: 施工箇所 保温種別 区分

一般風道
表: 区分 保温種別
表: 区分 保温種別

※ポリスチレンフォーム保温筒及びロックウール保温筒又は、保温板の使用が困難な箇所は、ロックウールを使用してもよい。
※ストレーナー・弁の保温は、屋内屋外ともビスなどにより容易に着脱できる構造とすること。
※防火区画を貫通する管の保温は、その貫通部分にロックウール保温材とすること。
※蒸気管、温水管の保温は、ポリエチレンフィルムを除く。
※スパイラルダクト（フランジ部を除く。）の保温は、グラスウール保温板32K使用してもよい。
※OAダクトが室内空調空間を經由する場合は保温とすること。
※全熱交換器の一次側OA、EAダクトは保温工事を実施とすること。

17 住宅保温仕様（管類については○印を塗りつぶしたものを適用する）
表: 施工箇所 保温種別 区分
表: 施工箇所 保温種別 区分

※ 硬質塩化ビニル管及び鉄管のコンクリート、地中埋設部は防食施工しない。
※ サニタリーメント及び通気管の屋内露出部分には塗装する。
※ 屋内露出（便所）の通気管は塗装する。
※ コンクリート貫通部分には、防食処理を行う。
※ 間仕切壁（PL板除く）貫通の場合は両側にプラスチックプレート取付のこ。
※ 支持金物仕様PS内（鋼製）、屋外（SUS製）、その他（樹脂製）とする。
※ さや管ヘッダー工法におけるヘッダー管は保温を行うこと。

18 建設副産物の処理について
資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。
現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。
また、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。
工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

指定副産物（原則として再資源化施設へ持込むもの）
表: 副産物 備考

特別管理産業廃棄物
・廃石綿等
「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル（環境庁大気保全局）」に従い、収集、運搬、処分を行う。
・廃PCB等
「電気事業法：電気関係報告規制」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・提出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

建設副産物の処理内容
表: 処理内容 備考
表: 処理内容 備考

19 フロン処理について
「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に従い処理すること。
業務用冷凍空調機器の有無の事前確認への協力 委託確認書
業務用冷凍空調機器の有無の確認 確認結果を画面で説明
フロン回収証明書 引取証明書、業者登録書のコピー
第1種フロン類充てん回収業者・・・フロン類回収・運搬
フロン類破壊・再生業者・・・フロン類破壊処理、一部再生利用

※ 工事請負業者は、第1種フロン類充てん回収業者にフロン回収処理を依頼し、回収後、引取証明書及び第1種フロン類充てん回収業者登録書のコピーの発行を受け、竣工図書に添付のこと。
※ 家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）に該当する機器（ルームエアコン等）については、適切に処理し、管理票（家電リサイクル券）を竣工図書に添付すること。

20 中水道配管設備
1. 水源
・雨水
・雑用水処理水
・井水
2. 配管材料
一般配管
・塩化ビニル管(SGP-VA)
・ポリ粉末鋼管(SGP-PA)
・塩化ビニル管(SGP-VB)
・ポリ粉末鋼管(SGP-PB)
・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)(屋内)・鋼鉄管(型式種)
・ステンレス鋼管(SUS) (圧縮継合・溶接継合・拡管継合)
・塩化ビニル管(SGP-VD)
・ポリ粉末鋼管(SGP-PD)
※ プルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。
・塩化ビニル管(SGP-VD)
・ポリ粉末鋼管(SGP-PD)
・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)
・水道用硬質塩化ビニル管(VP)
※ プルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。
・ポリエチレン管 1種 (PE) (溶着継合・金属継手継合)
3. 接続部の防止対策
表: 配管等
表: 配管等
表: 配管等

図1 防火区画等貫通部措置
給水管、排水管及び通気管等が防火区画等を貫通する場合の措置は、建築基準法施行令第129条の2の5第1項第7号に規定されており、次のいずれかに該当すること。
1. 防火区画等の貫通部分及び両側1m以内を不燃材料で造ること。（右参考図参照）
2. 平成12年建設省告示第1422号に適合すること。（下表）（難燃材料又は硬質塩化ビニル管(VP)を用いる場合）
表: 用途 貫のの有無 肉厚
表: 用途 貫のの有無 肉厚
※表中の（ ）内は適合可能な硬質塩化ビニル管(JIS K 6741のVU管を除く）の呼び径寸法を示す。
※呼び径寸法未満の給水管等については、JISに適合した硬質塩化ビニル管であれば、表中の肉厚に満たなくても同一の性能を有しているものとして取り扱う。

3. 国土交通大臣の認定を受けたものであること。
例1) 硬質塩化ビニル管(RF-VP)に防火区画貫通用テープを用いる場合(右参考図参照)
例2) 耐火二層管を認定条件に従って施工する場合(立管はすべて耐火二層管とし、横管は立管の分岐から1mまでを耐火二層管とし、その延長部分を硬質塩化ビニル管とした場合など)

工事の区分 電気工事、機械工事の工事区分 [本工事: 機械工事]
表: 項目 区分 電気 機械 備考

(株) 総合設備コンサルタント
九州事務所
業務完了年月日 令和2年 月 日
管理技術者 技術者 製図
図面番号 M-02
図面尺 A1:S:M,S; A3:S:M,S;
九州センター
令和 年 月

空調設備 機器明細表

<60Hz>

記号	名称	仕様及び付属品	電気容量			数量	備考
			φ	V	kW		
AC-1-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 マルチ床置型 (14HP)	3	200	12.7	1	1階屋外
		冷房能力 40.0 kW 暖房能力 45.0 kW			圧縮機 10.7		
		付属品 防振ゴムパット、分岐管、他標準付属品一式			送風機 0.46		
AC-1-1A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.30	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、キャンバスタクト、吸込パネル					
		ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-1-2	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 マルチ床置型 (14HP)	3	200	12.7	1	1階屋外
		冷房能力 40.0 kW 暖房能力 45.0 kW			圧縮機 10.7		
		付属品 防振ゴムパット、分岐管、他標準付属品一式			送風機 0.46		
AC-1-2A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.30	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、キャンバスタクト、吸込パネル					
		ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-1-3	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 マルチ床置型 (14HP)	3	200	12.7	1	1階屋外
		冷房能力 40.0 kW 暖房能力 45.0 kW			圧縮機 10.7		
		付属品 防振ゴムパット、分岐管、他標準付属品一式			送風機 0.46		
AC-1-3A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.30	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、キャンバスタクト、吸込パネル					
		ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-3	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階食堂系統)	型式 床置ダクト接続型 (16HP)	3	200	13.47	2	室外機: 1階屋外 室内機: 1階機械室
		冷房能力 40.0 kW 暖房能力 45.0 kW	(室外機)	圧縮機 8.1			
		送風量 8,400 m ³ /h		送風機 0.46			
		機外静圧 400Pa 加湿 6.0kg/h (有効)	(室内機)	送風機 3.0x2			
		付属品 防振ゴムパット (室内外機共)、プレフィルター、中性能フィルター					
		フィルターボックス、滴下気化式加湿器、リモコンスイッチ、室内型温度検出器					
AC-5-2A	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階フロント休憩室系統)	型式 天井埋込カセット形 (2方向吹出タイプ)	1	200	1.43	1	室外機: 1階屋外 室内機: 1階休憩室
		冷房能力 4.0kW 暖房能力 4.5kW	(室外機)	圧縮機 0.9			
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式		送風機 0.04			
			(室内機)	送風機 0.05			
AC-5-2B	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階フロント事務室系統)	型式 天井埋込カセット形 (2方向吹出タイプ)	1	200	1.89	1	室外機: 1階屋外 室内機: 1階フロント事務室
		冷房能力 5.0kW 暖房能力 5.6kW	(室外機)	圧縮機 1.2			
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式		送風機 0.04			
			(室内機)	送風機 0.05			

<60Hz>

記号	名称	仕様及び付属品	電気容量			数量	備考
			φ	V	kW		
AC-7	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階オーディオルーム系統)	型式 床置型 (5HP)	3	200	4.67	1	1階屋外
		冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW			圧縮機 3.8		
		付属品 防振ゴムパット、分岐管、他標準付属品一式			送風機 0.06x2		
AC-7A-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形 (2方向吹出タイプ)	1	200	0.04	1	1階 打ち合せルーム
		冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-7A-2	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形 (2方向吹出タイプ)	1	200	0.04	1	1階 健康相談室
		冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-7B	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形 (4方向吹出タイプ)	1	200	0.02	1	1階 オーディオルーム
		冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-8A	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階和室系統)	型式 天井埋込カセット形 (4方向吹出タイプ)	1	200	1.05	1	室外機: 1階屋外 室内機: 1階和室
		冷房能力 4.0kW 暖房能力 4.5kW	(室外機)	圧縮機 0.9			
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式		送風機 0.04			
			(室内機)	送風機 0.05			
AC-8B	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階和室系統)	型式 天井埋込カセット形 (4方向吹出タイプ)	1	200	1.05	1	室外機: 1階屋外 室内機: 1階和室
		冷房能力 4.0kW 暖房能力 4.5kW	(室外機)	圧縮機 0.9			
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式		送風機 0.04			
			(室内機)	送風機 0.05			

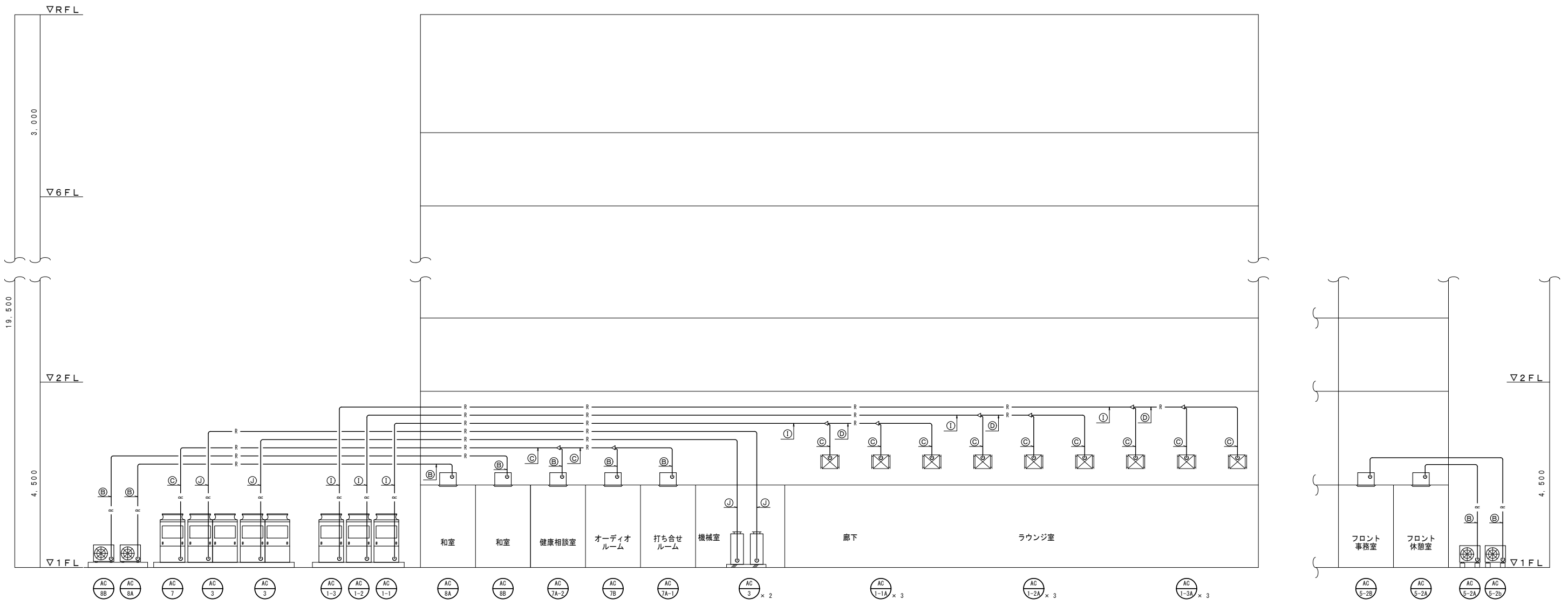
※電気容量は、参考値とする。
 ※パッケージ型空気調和機の冷暖房能力は、JIS条件 (JIS B 8616) 及び冷媒管長・高低差の補正後の機器能力を示す。
 ※パッケージ型空気調和機で使用する冷媒ガスは新冷媒とする。(オゾン破壊係数0のものとする)
 ※パッケージ型空気調和機は、グリーン購入法 (特定調達物品等) 適合品とする。
 ※パッケージ型空気調和機の屋内外の渡り配線は、冷媒配管に共巻きとする。
 ※パッケージ型空気調和機は、遠方操作端子付とし、既設集中管理コントローラーに接続する。

受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-03
業務完了年月日	令和2年 月 日			図面名称	雷泊様・管理研修棟 空調設備 機器明細表 (改修後)	縮尺	A1: S-N, S. A3: S-N, S.
管理技術者	技術者	製図		九州センター		令和	年 月

凡例		
記号	名称	仕様
— R —	冷媒管	冷媒用被覆銅管 (メーカー指定品)

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	9.5φ
(B)	6.4φ	12.7φ
(C)	9.5φ	15.9φ
(D)	9.5φ	19.1φ
(E)	9.5φ	22.2φ
(F)	9.5φ	25.4φ
(G)	12.7φ	19.1φ
(H)	12.7φ	22.2φ
(I)	12.7φ	25.4φ
(J)	12.7φ	28.6φ
(K)	15.9φ	28.6φ

※室内外機渡り配線共巻とする
※サイズは参考とする



宿泊棟

管理研修棟

空調設備 配管系統図 (改修後)

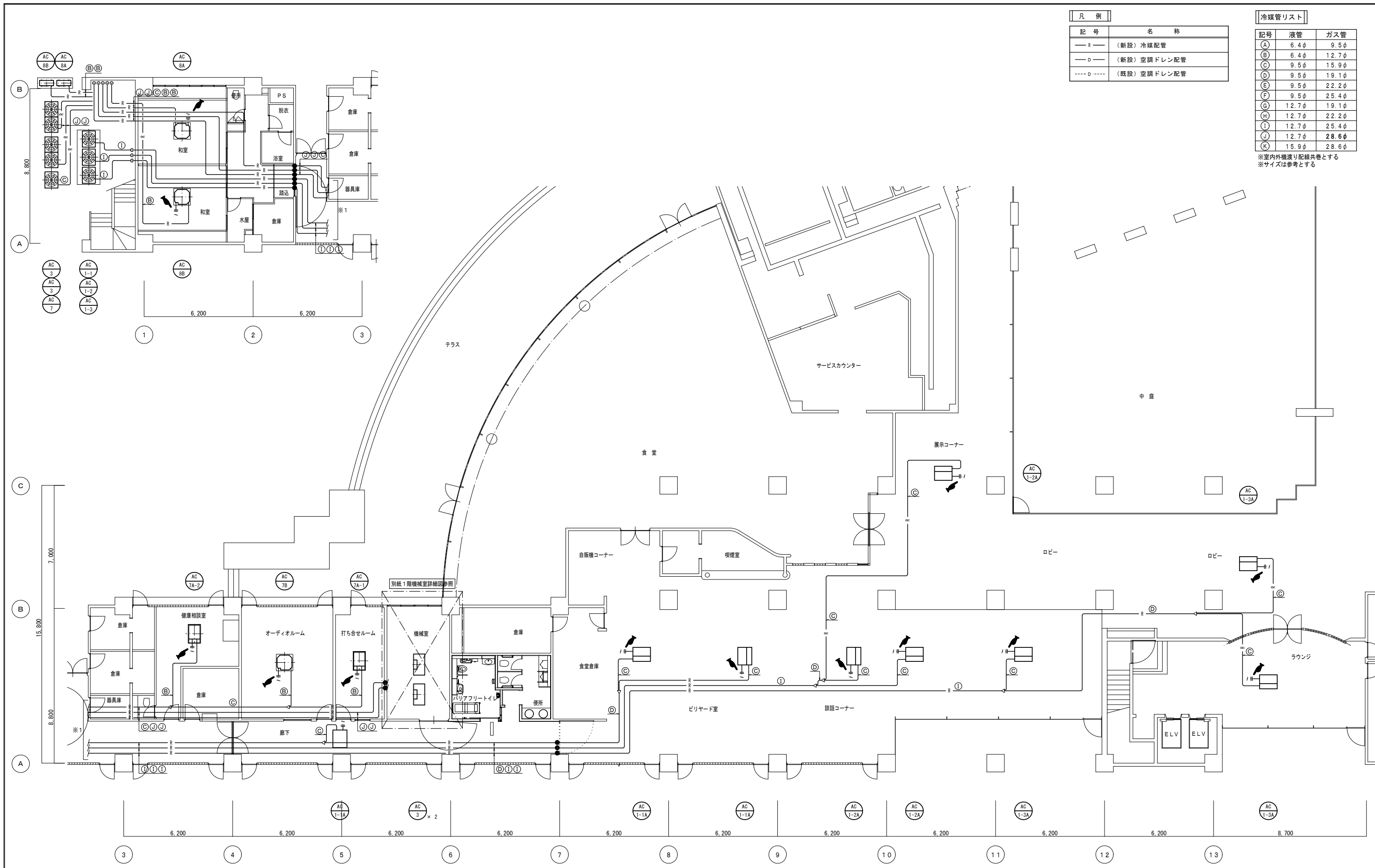
※図中の実線部は改修範囲を示す。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	M-04
業務完了年月日	令和 2年 月 日	工名	九州センター空調設備更新工事	縮尺	A1: S=N, S. A3: S=N, S.
管理技術者	技術者	製図	図面名称	宿泊棟・管理研修棟 空調設備 配管系統図 (改修後)	九州センター
					令和 年 月

凡例	
記号	名称
— R —	(新設) 冷媒配管
— D —	(新設) 空調ドレン配管
--- D ---	(既設) 空調ドレン配管

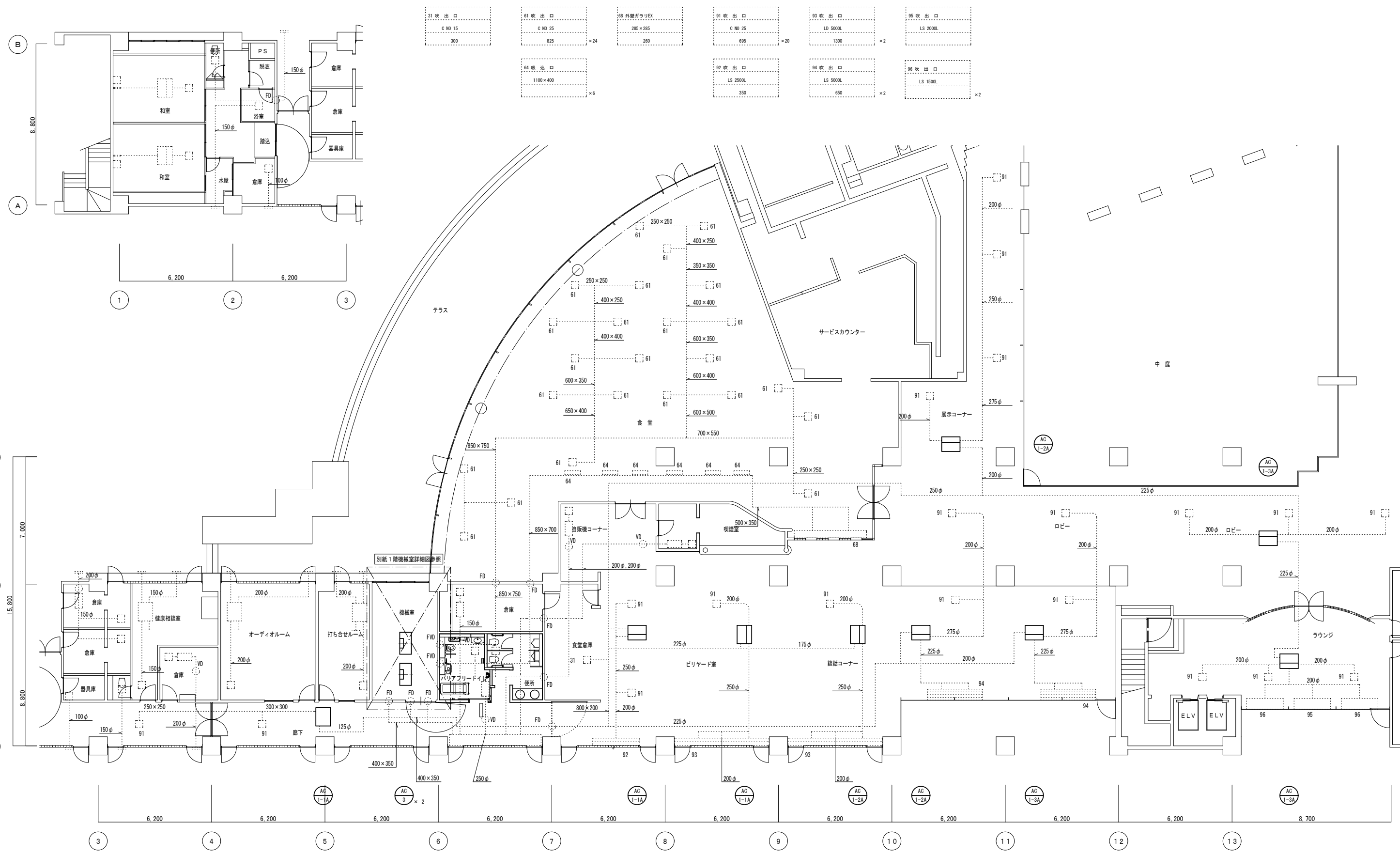
冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	9.5φ
(B)	6.4φ	12.7φ
(C)	9.5φ	15.9φ
(D)	9.5φ	19.1φ
(E)	9.5φ	22.2φ
(F)	9.5φ	25.4φ
(G)	12.7φ	19.1φ
(H)	12.7φ	22.2φ
(I)	12.7φ	25.4φ
(J)	12.7φ	28.6φ
(K)	15.9φ	28.6φ

※室内機選り配線共巻とする
※サイズは参考とする



- 注記)
1. 図中の実線部は改修範囲を示し、破線部分は既設再利用部分を示す。
 2. 図示の箇所を除きドレン管は、既設再利用とする。
 3. 〓は、ドレン管(25A)の接続箇所を示す。
 4. 冷媒配管のコンクリート貫通部(壁)は、既設開口再利用とする。
 5. 図中の●は、防火上主要な間仕切壁の貫通を示し、国土交通大臣認定工法とする。
 6. 天井等の改修は天井改修平面図参照とする。
 7. 室外機基礎は既設再利用とする。

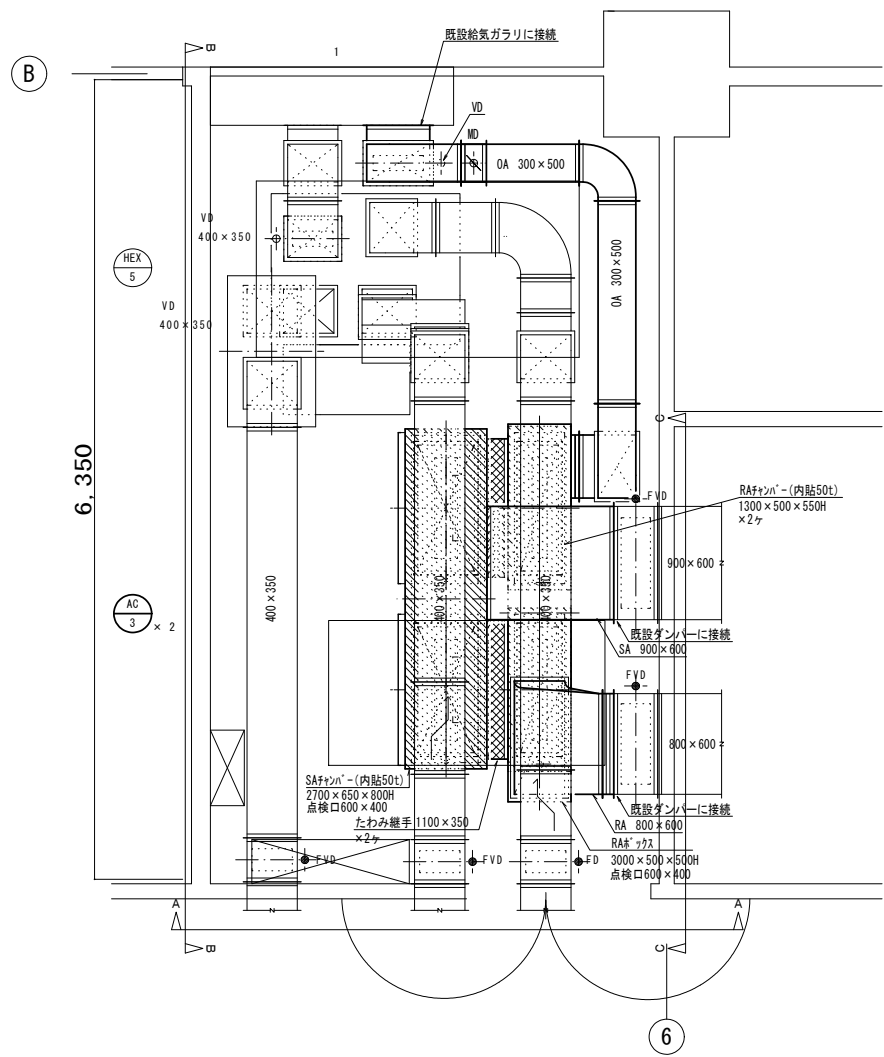
受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	M-05
業務完了年月日	令和2年	月	日	縮尺	A1:S:1/100 A3:S:1/200
管理技術者	技術者	製図	図面名称	雷浴機 空調設備 1階平面図(配管)(改修後)	九州センター
					令和 年 月



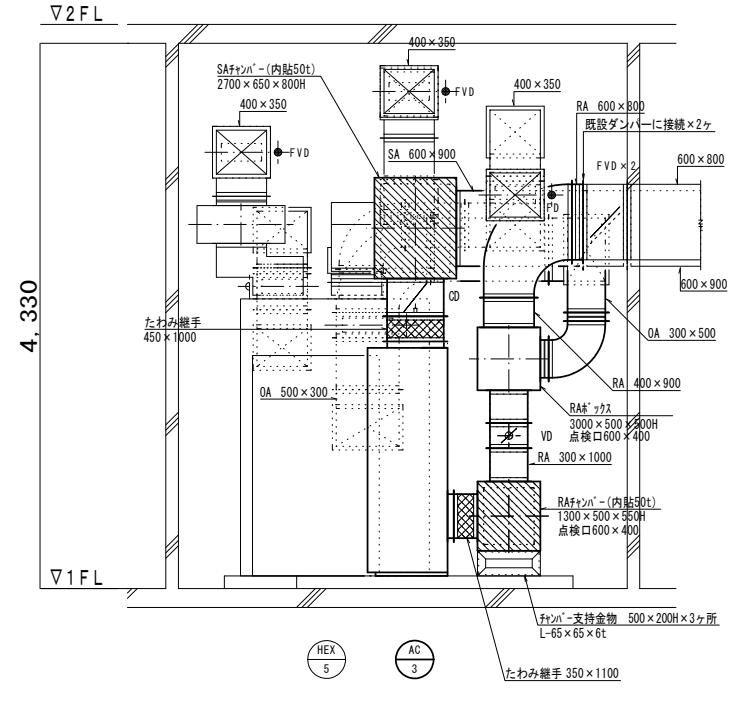
注記
1. 図中の実線部は改修範囲を示し、破線部は既設部分を示す。
2. 更新機器前後のダクト0.5mの新設を見込む。

受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	M-06
業務完了年月日	令和2年	月	日	工務	九州センター空調設備更新工事
管理技術者	技術者	製図		図面名称	電設機 空調設備 1階平面図(ダクト)(改修後)
				縮尺	A1:S:1/100 A3:S:1/200
					九州センター 令和 年 月

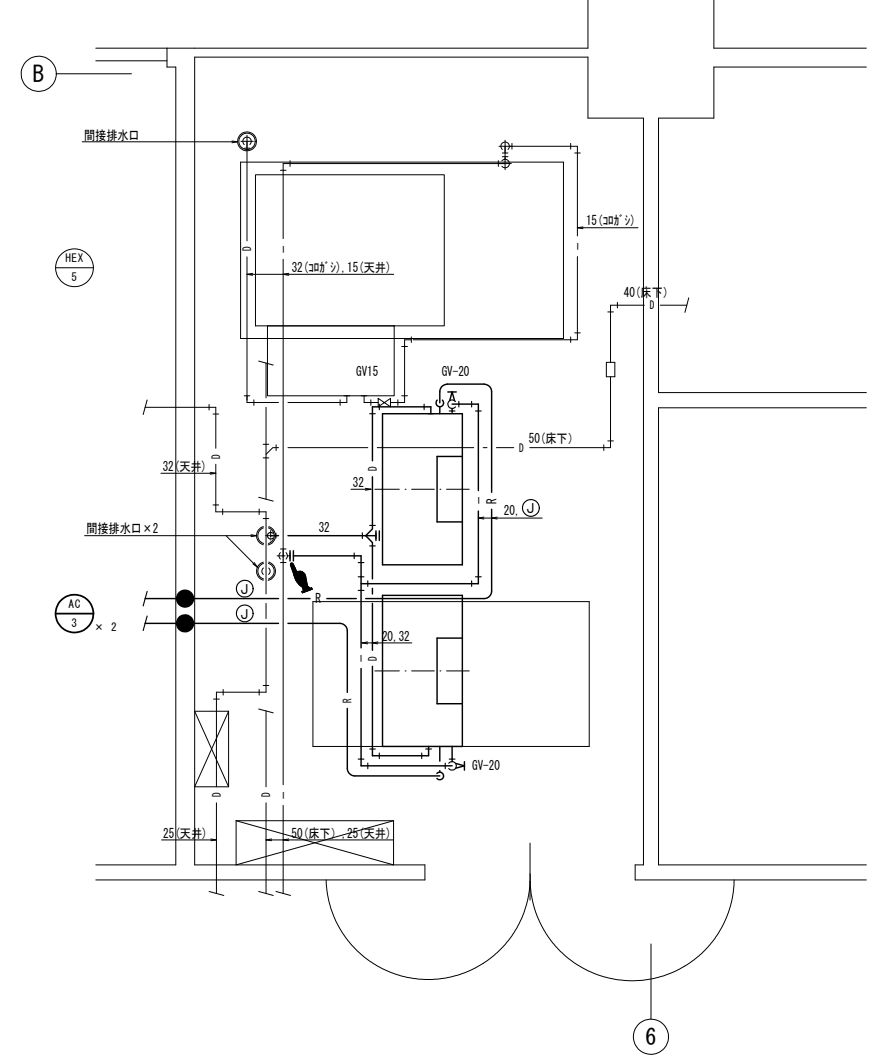
1 外壁ガラリ
2080 × 1650



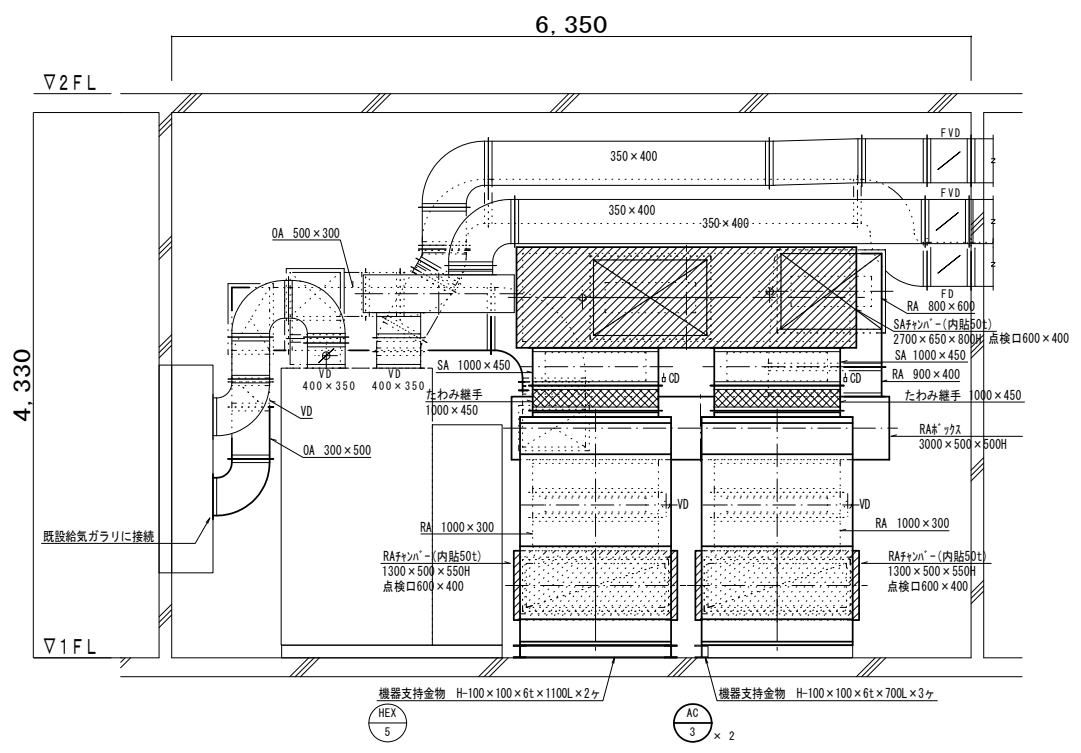
空調設備 1階機械室詳細図(ダクト) S=1/30



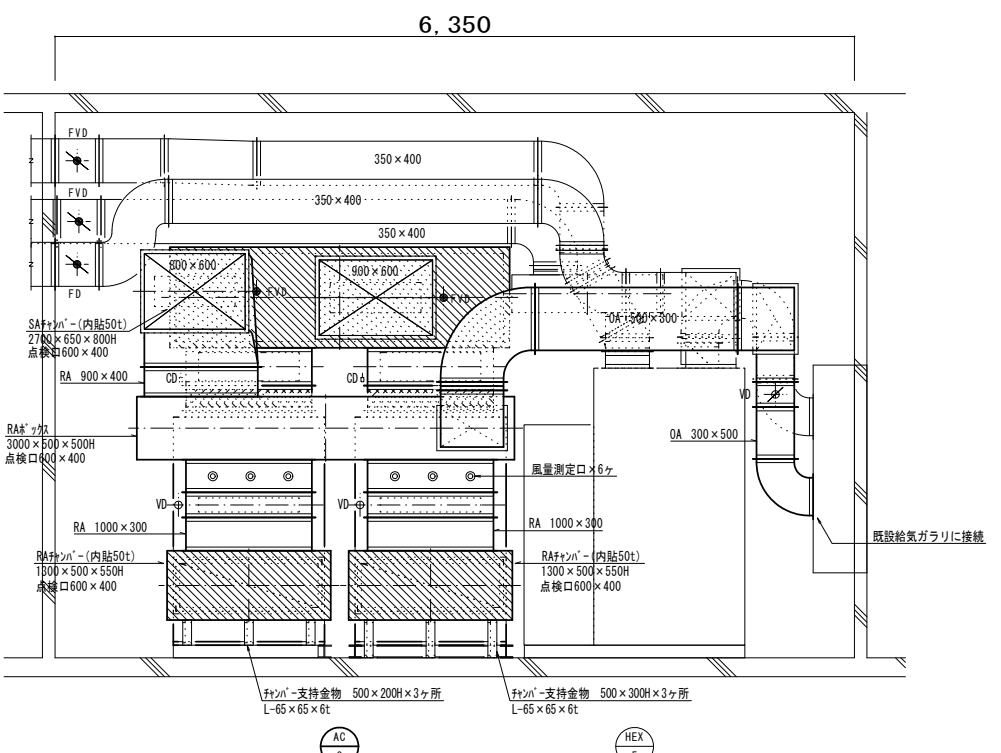
空調設備 1階機械室A-A断面図(ダクト) S=1/30



空調設備 1階機械室詳細図(配管) S=1/30



空調設備 1階機械室B-B断面図(ダクト) S=1/30



空調設備 1階機械室C-C断面図(ダクト) S=1/30

冷媒管リスト

記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	9.5φ
(B)	6.4φ	12.7φ
(C)	9.5φ	15.9φ
(D)	9.5φ	19.1φ
(E)	9.5φ	22.2φ
(F)	9.5φ	25.4φ
(G)	12.7φ	19.1φ
(H)	12.7φ	22.2φ
(I)	12.7φ	25.4φ
(J)	12.7φ	28.6φ
(K)	15.9φ	28.6φ

※室内外機渡り配線共巻とする
※サイズは参考とする

注記

- 図中の太線部は改修範囲を示し、細線部は既設部分を示す。
- は、加湿給水管(25A)の接続箇所を示す。
- 図中の●は、延焼ライン内の外壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通を示し、国土交通大臣認定工法とする。

受託者名	(株)総合設備コンサルタント			
九州事務所	工 事 名	九州センター空調設備更新工事	図 面 号	M-07
業務完了年月日	令和 2年 月 日	製 図	縮 尺	A1:S=1/30 A3:S=1/60
管理技術者	技 術 者	製 図	図 面 名 称	空調設備 1階機械室詳細図(改修後)
			九州センター	令和 年 月

中央監視点一覧表

記号	名称	RS盤	現場盤	操作			表示			計測			計量	備考
				設定	切替	発停	状態	故障	警報	温度	湿度	その他		
AC-3	1階 食堂系統 空調機	RS-B1	補機盤			1	1		1					
AC-3	空調機 送風/温度切替	RS-B1	補機盤	1			1							
AC-3	空調機 冷房/暖房切替	RS-B1	補機盤	1			1							
AC-3	1階 食堂系統 温度	RS-1-1								1				
AC-3	1階 食堂系統 温度設定	RS-1-1		1										
AC-3	1階 食堂系統 湿度	RS-1-1									1			
AC-3	1階 食堂系統 湿度設定	RS-1-1		1										
AC-3	1階 食堂系統 空調機	RS-B1	補機盤		1	1		1						
AC-3	空調機 送風/温度切替	RS-B1	補機盤	1			1							
AC-3	空調機 冷房/暖房切替	RS-B1	補機盤	1			1							
AC-3	1階 食堂系統 温度設定	RS-1-1-2		1										
AC-3	1階 食堂系統 湿度設定	RS-1-1-2		1										
AC-3	1階 食堂系統 空調機連動切替	RS-B1	補機盤		1	1		1						
AC-3	OAモーターダンパー 開/閉	RS-B1	補機盤					1						

<注記> 1. : 増設点数を示す。

自動制御機器表

記号	名称	数量	備考
TE	室内型温度検出器	2	(機器付属品)
THE1	室内型湿度検出器	1	
TR	トランス	1	
RT	リレータイマー回路	1	
MD	モーターダンパー	1	(300x500)
DC	直流定電圧電源	1	
V/VV	信号変換器	2	
HIC1	指示調節器	2	

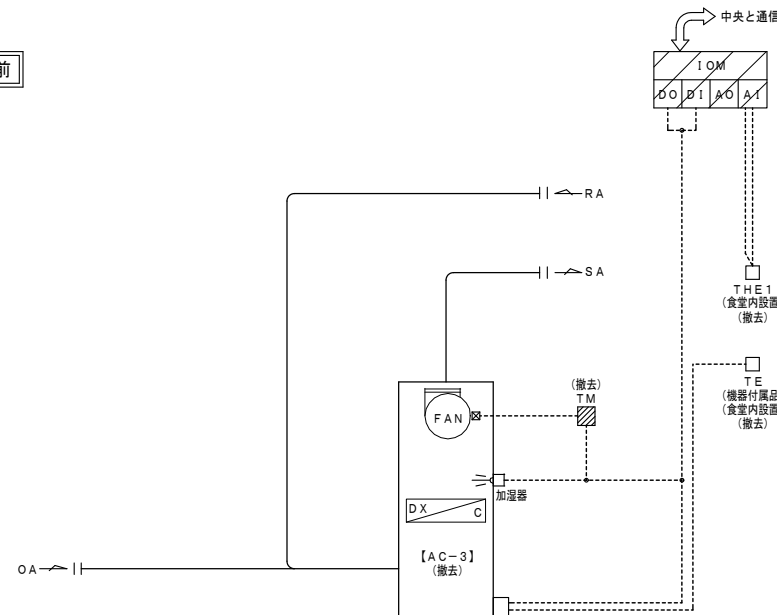
自動制御盤一覧

盤名称	盤寸法 (mm)			収納系統	備考
	W	H	D		
RS-1-1-2	700	500	250	空冷ヒートポンプパッケージ制御	新設 屋内仕様掛形

1. 空冷ヒートポンプパッケージ制御

AC-3 1階 食堂系統

改修前



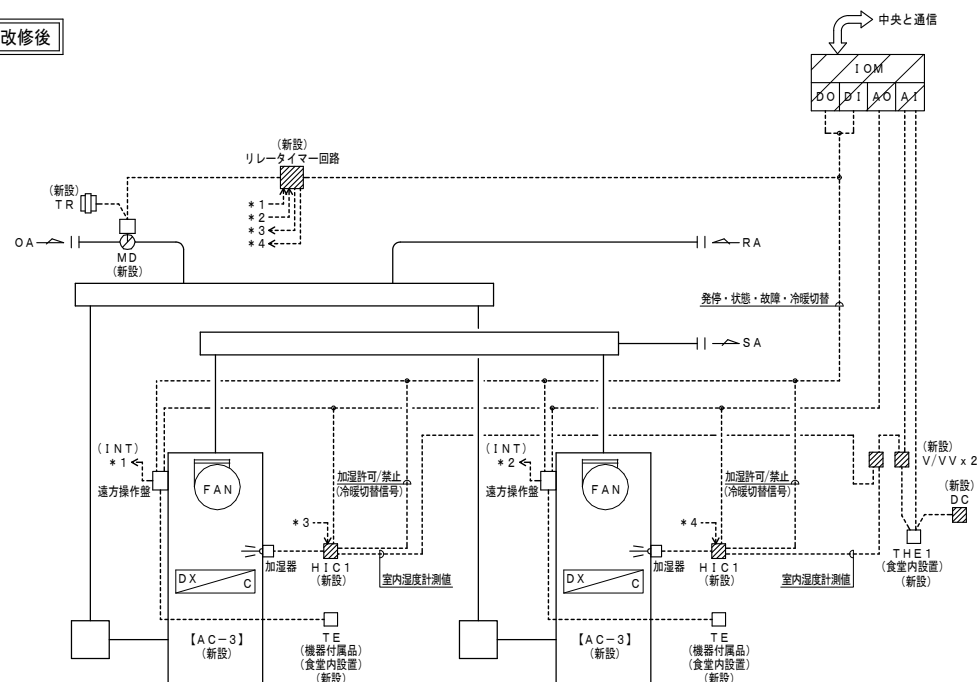
動作説明

- 室内温度制御
 - COMP 2位置3段制御
- 室内湿度制御
 - 加湿器 ON/OFF制御

<中央と通信>

- 室内温度計測、設定
- 室内湿度計測、設定
- 送風/温調切替
- 冷房/暖房切替

改修後

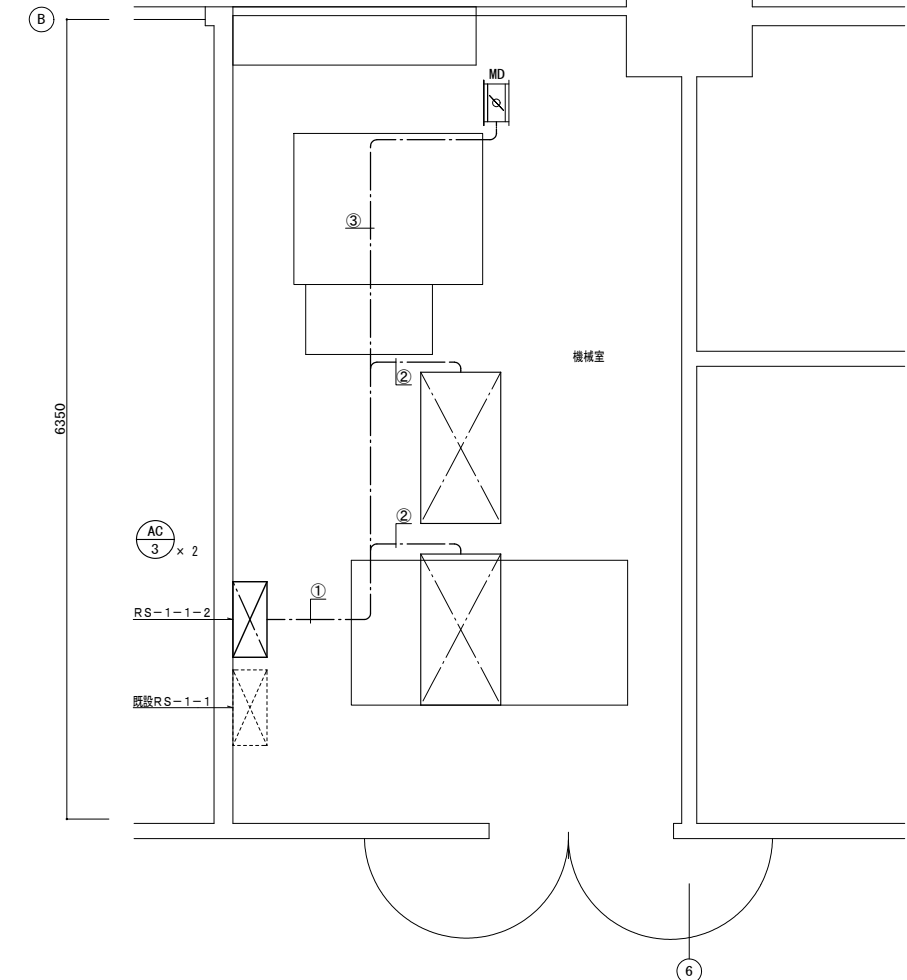


動作説明

- 室内温度制御
 - THE1により加湿器のON/OFF制御を行う。
- ウォーミングアップ制御
 - 立ち上がり時、外気ダンパーを閉とし予冷/予熱を行う。
 - 又、加湿は禁止とする。
- 空気調和機停止時のインターロック制御
 - 対象: 加湿器/ダンパー

<中央と通信>

- 室内温度計測、設定
- 室内湿度計測、設定
- 送風/温調切替
- 冷房/暖房切替
- 連動/単独運転切替
- ダンパー閉鎖状態



自動制御設備 機械室詳細図 S=1/30

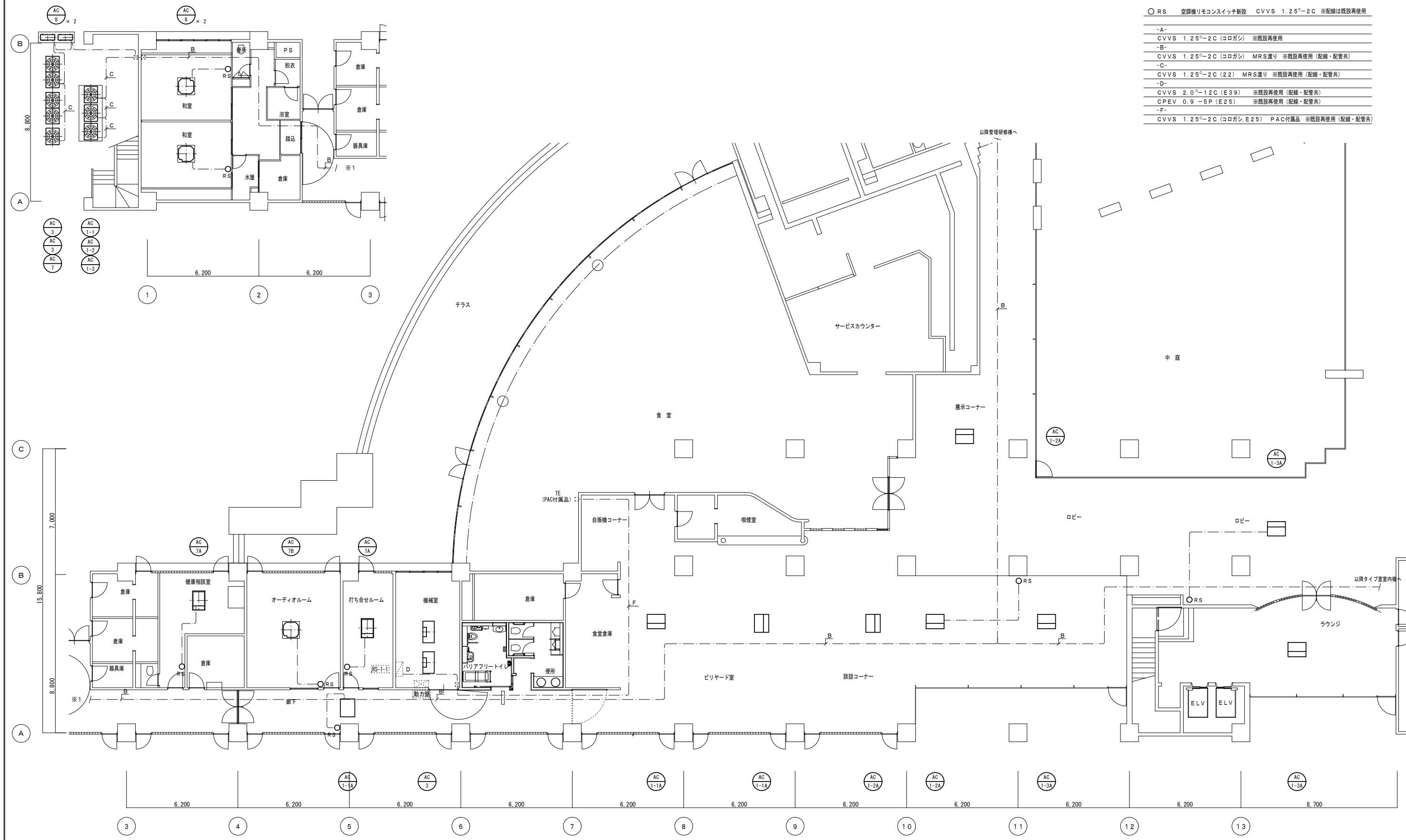
配線明細

-1-	EM-CEES1.25a	-7C	x1	(E25)	MD
	EM-CEES1.25a	-4C	x2	(E25)x2	AC
-2-	EM-CEES1.25a	-4C	x1	(E25)	AC
-3-	EM-CEES1.25a	-7C	x1	(E25)	MD

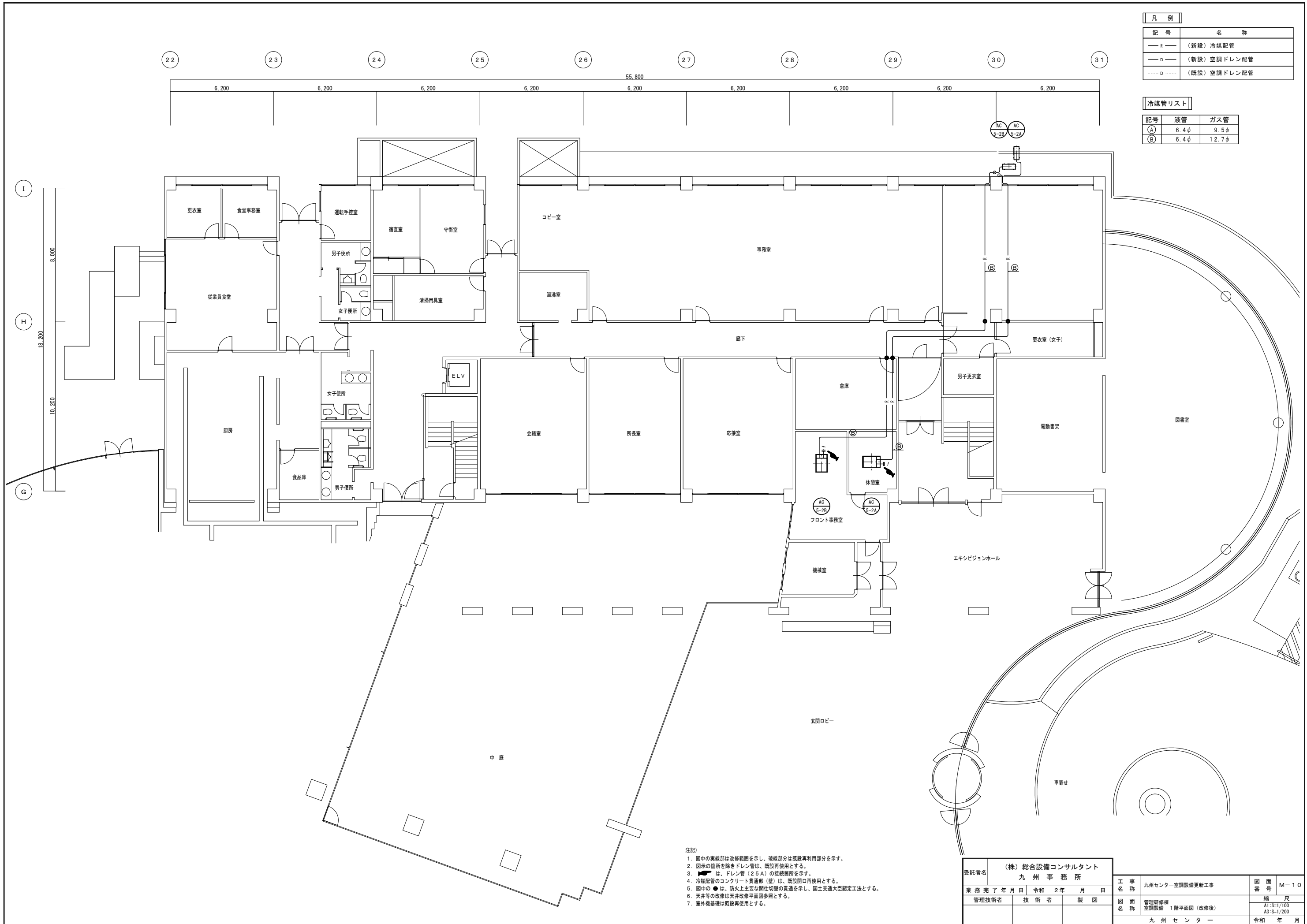
受託者名 (株) 総合設備コンサルタント				九州事務所	
業務完了年月日	令和 2年 月 日	図面番号	M-08	縮尺	A1:S:1/30
管理技術者	技術者	製図		縮尺	A3:S:1/60
九州センター				令和	年 月

凡例

- RS 空調機リモコンスイッチ新設 CVVS 1.25°-2C ※配線は既設再使用
- A- CVVS 1.25°-2C (コロガシ) ※既設再使用
- B- CVVS 1.25°-2C (コロガシ) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)
- C- CVVS 1.25°-2C (22) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)
- D- CVVS 2.0°-12C (E39) ※既設再使用 (配線・配管共)
- E- CPEV 0.9-5P (E25) ※既設再使用 (配線・配管共)
- F- CVVS 1.25°-2C (コロガシ, E25) PAC付属品 ※既設再使用 (配線・配管共)



受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所		図面番号	M-09
業務完了年月日	令和2年	月 日	図面名称	雷治機自動制御設備1階平面図(改修後)
管理技術者	技術者	製図	縮尺	A1:S:1/100 A3:S:1/200
			九州センター	令和 年 月

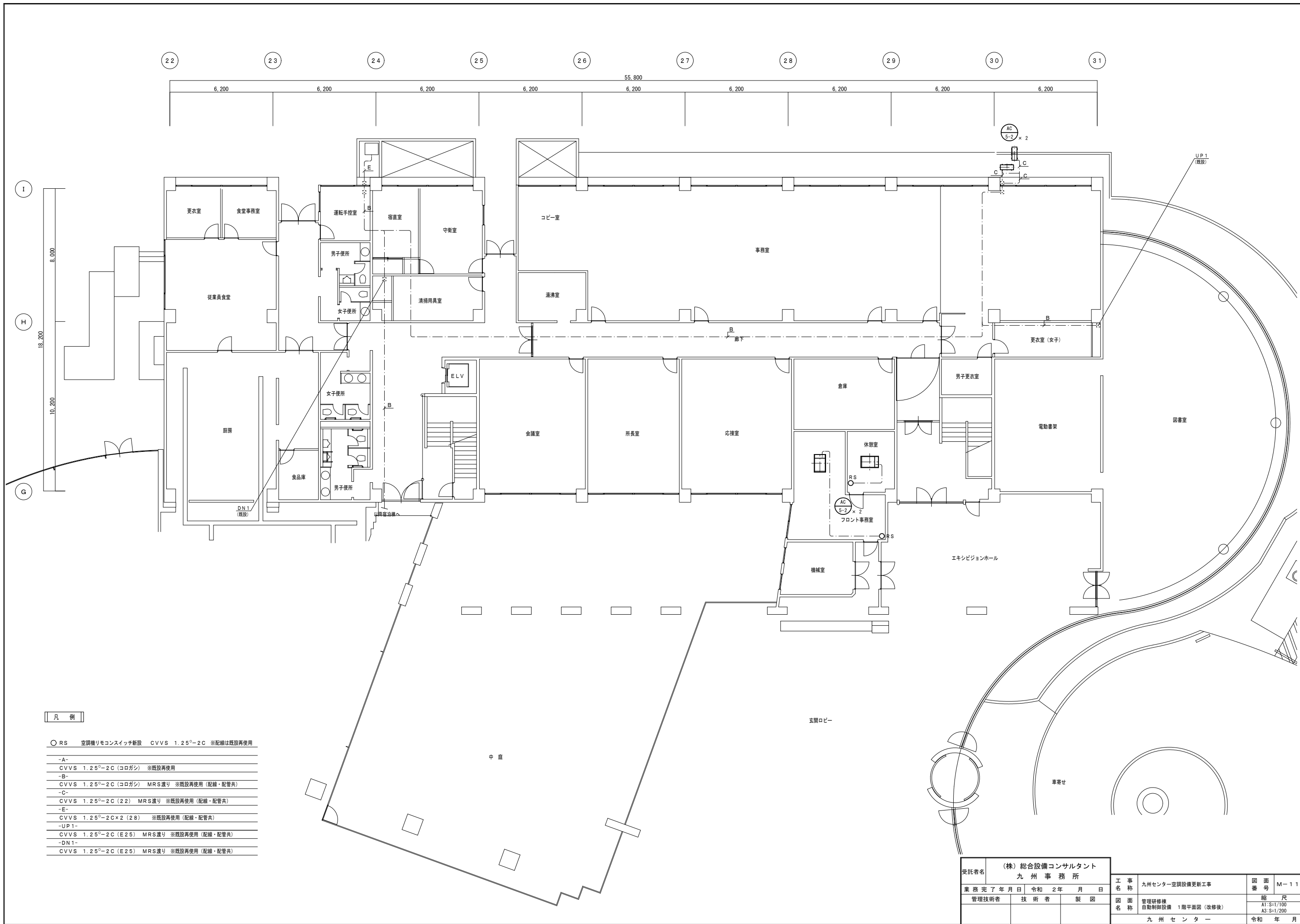


凡例	
記号	名称
— R —	(新設) 冷媒配管
— D —	(新設) 空調ドレン配管
--- D ---	(既設) 空調ドレン配管

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	9.5φ
(B)	6.4φ	12.7φ

- 注記
1. 図中の実線部分は改修範囲を示し、破線部分は既設再利用部分を示す。
 2. 図示の箇所を除きドレン管は、既設再使用とする。
 3. **■** は、ドレン管(25A)の接続箇所を示す。
 4. 冷媒配管のコンクリート貫通部(壁)は、既設開口再使用とする。
 5. 図中の ● は、防火上主要な間仕切壁の貫通を示し、国土交通大臣認定工法とする。
 6. 天井等の改修は天井改修平面図参照とする。
 7. 室外機基礎は既設再使用とする。

(株) 総合設備コンサルタント				九州事務所	
受託者名					
業務完了年月日	令和 2 年	月	日	工事名	九州センター空調設備更新工事
管理技術者	技術者	製図		図面番号	M-10
				図面名称	管理研修棟 空調設備 1階平面図 (改修後)
				縮尺	A1:S:1/100 A3:S:1/200
				図面	九州センター
				令和	年



凡例

- RS 空調機リモコンスイッチ新設 CVVS 1.25°-2C ※配線は既設再使用
- A- CVVS 1.25°-2C (コロガシ) ※既設再使用
- B- CVVS 1.25°-2C (コロガシ) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)
- C- CVVS 1.25°-2C (22) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)
- E- CVVS 1.25°-2C×2 (28) ※既設再使用 (配線・配管共)
- UP1- CVVS 1.25°-2C (E25) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)
- DN1- CVVS 1.25°-2C (E25) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)

受託者名		(株)総合設備コンサルタント		図面	M-11
九州事務所		工名	九州センター空調設備更新工事	縮尺	
業務完了年月日		令和 2年 月 日	図面	A1:S-1/100	
管理技術者		技術者	製図	A3:S-1/200	
		九州センター		令和 年 月	

空調設備 撤去機器明細表

<60Hz>

記号	名称	仕様及び付属品	電気容量			数量	備考
			φ	V	kW		
AC-1-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 床置型(12HP)	3	200	9.57	1	1階屋外
		冷房能力 33.5 kW 暖房能力 37.5 kW			圧縮機 8.0		参考品番:PUHY-P335CM-E1
		冷媒量 9.0kg (R410A) 重量 205kg			送風機 0.38		
		外形寸法 920×760×1650H					
AC-1-1A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.48	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
AC-1-2	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 床置型(12HP)	3	200	9.57	1	1階屋外
		冷房能力 33.5 kW 暖房能力 37.5 kW			圧縮機 8.0		参考品番:PUHY-P335CM-E1
		冷媒量 9.0kg (R410A) 重量 205kg			送風機 0.38		
		外形寸法 920×760×1650H					
AC-1-2A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.48	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
AC-1-3	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 床置型(12HP)	3	200	9.57	1	1階屋外
		冷房能力 33.5 kW 暖房能力 37.5 kW			圧縮機 8.0		参考品番:PUHY-P335CM-E1
		冷媒量 9.0kg (R410A) 重量 205kg			送風機 0.38		
		外形寸法 920×760×1650H					
AC-1-3A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.48	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
AC-3	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階食堂系統)	型式 床置ダクト型(40HP)	3	200	37.6	1	室外機:1階屋外
		冷房能力 100.0 kW 暖房能力 112.0 kW	(室外機)	圧縮機	(8.2+5.3)		室内機:1階機械室
		送風量 19,800 m3/h				×2	参考品番:PFHV-P1120M-E-L
		冷媒量 64.4kg (R410A)			送風機	0.38×4	
		重量 (外)420kg×2 (内)600kg	(室内機)	送風機	11.0		
外形寸法 (外)1990×840×1850H×2 (内)1825×1330×1850H							
AC-5-2A	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階フロント休憩室系統)	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	1.19	1	室外機:1階屋外
		冷房能力 4.0 kW 暖房能力 4.5 kW	(室外機)	圧縮機	0.9		室内機:1階休憩室
		冷媒量 1.7kg (R410A)			送風機	0.03	参考品番:MPLZ-P45SPC
			(室内機)	送風機	0.04		
AC-5-2B	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階フロント事務室系統)	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	1.19	1	室外機:1階屋外
		冷房能力 4.0 kW 暖房能力 4.5 kW	(室外機)	圧縮機	0.9		室内機:1階フロント事務室
		冷媒量 1.7kg (R410A)			送風機	0.03	参考品番:MPLZ-P45SPC
			(室内機)	送風機	0.04		

<60Hz>

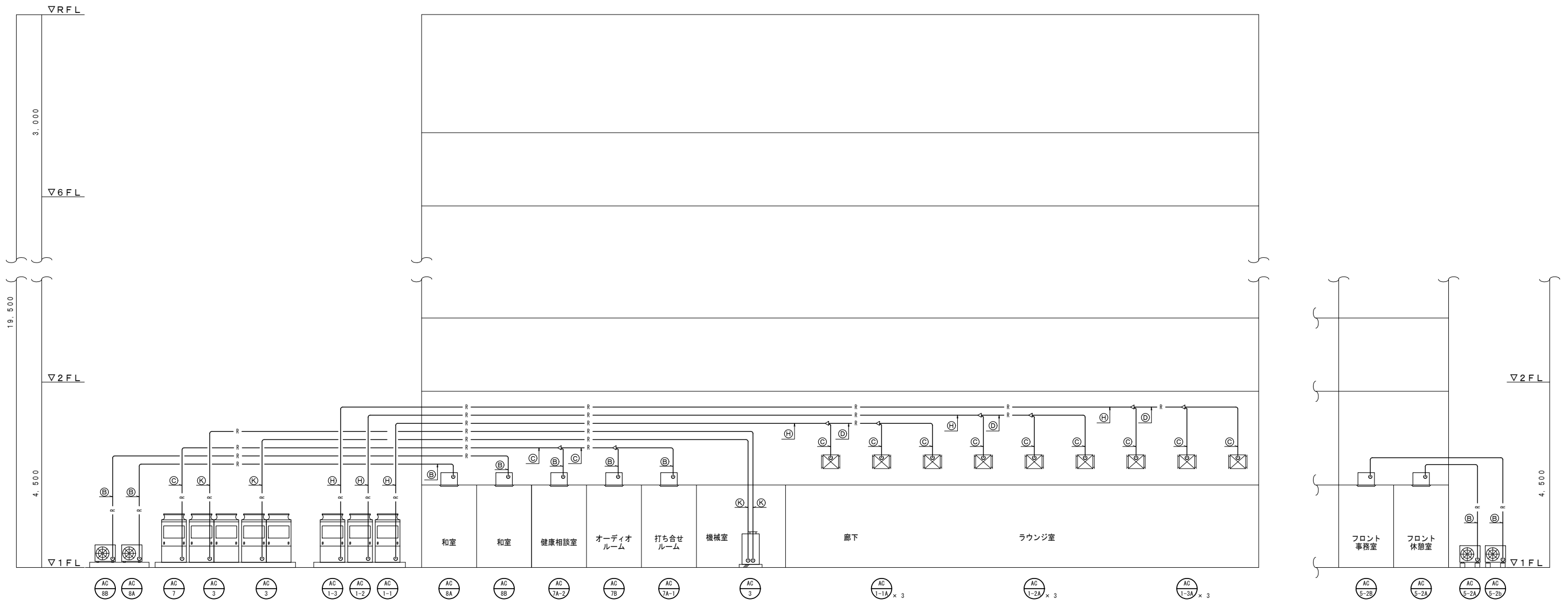
記号	名称	仕様及び付属品	電気容量			数量	備考
			φ	V	kW		
AC-7	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階オーディオルーム系統)	型式 床置型(5HP)	3	200	3.87	1	1階屋外
		冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW			圧縮機 2.8		参考品番:PUHY-P140M-E
		冷媒量 7.0kg (R410A) 重量 210kg			送風機 0.38		
		外形寸法 990×840×1840H					
AC-7A-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	0.07	1	1階 打ち合せルーム
		冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW					
AC-7A-2	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	0.07	1	1階 健康相談室
		冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW					
AC-7B	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形(4方向吹出タイプ)	1	200	0.12	1	1階 オーディオルーム
		冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW					
AC-8A	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階和室系統)	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	1.19	1	室外機:1階屋外
		冷房能力 4.0 kW 暖房能力 4.5 kW	(室外機)	圧縮機	0.9		室内機:1階和室
		冷媒量 1.7kg (R410A)			送風機	0.03	参考品番:MPLZ-P45SAC
			(室内機)	送風機	0.035		
AC-8B	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階和室系統)	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	1.19	1	室外機:1階屋外
		冷房能力 4.0 kW 暖房能力 4.5 kW	(室外機)	圧縮機	0.9		室内機:1階和室
		冷媒量 1.7kg (R410A)			送風機	0.03	参考品番:MPLZ-P45SAC
			(室内機)	送風機	0.035		

※冷媒フロンガスの処理
 ・専門業者により回収処理を行い、撤去により発生する冷媒フロンは大気中に放出しないよう抽出し、適正に処理するものとする。
 また、最終破壊処理までの証明書を提出すること。

受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-12
業務完了年月日	令和2年	月	日	図面名称	雷泊様・管理研修棟 空調設備機器明細表(撤去)	縮尺	A1:S-N,S, A3:S-N,S,
管理技術者	技術者	製図		九州センター		令和	年

冷媒管リスト

記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	9.5φ
(B)	6.4φ	12.7φ
(C)	9.5φ	15.9φ
(D)	9.5φ	19.1φ
(E)	9.5φ	22.2φ
(F)	9.5φ	25.4φ
(G)	12.7φ	19.1φ
(H)	12.7φ	22.2φ
(I)	12.7φ	25.4φ
(J)	12.7φ	28.6φ
(K)	15.9φ	28.6φ



宿泊棟

管理研修棟

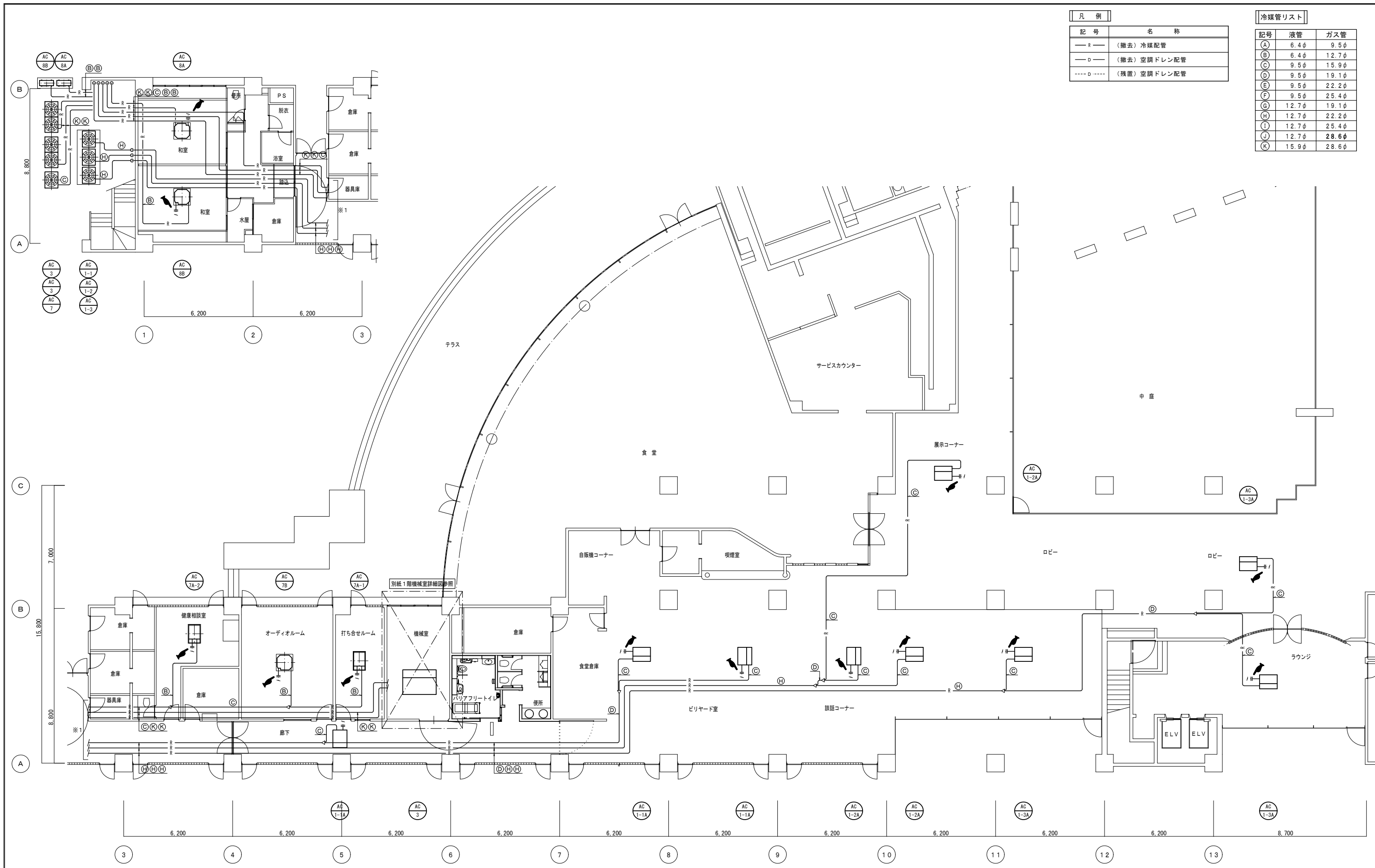
空調設備 配管系統図 (撤去)

※図中の実線部は撤去範囲を示す。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	M-13
業務完了年月日	令和 2年 月 日	工事名	九州センター空調設備更新工事	縮尺	A1: S-N, S. A3: S-N, S.
管理技術者	技術者	製図	図面名称	宿泊棟・管理研修棟 空調設備 配管系統図 (撤去)	九州センター
					令和 年 月

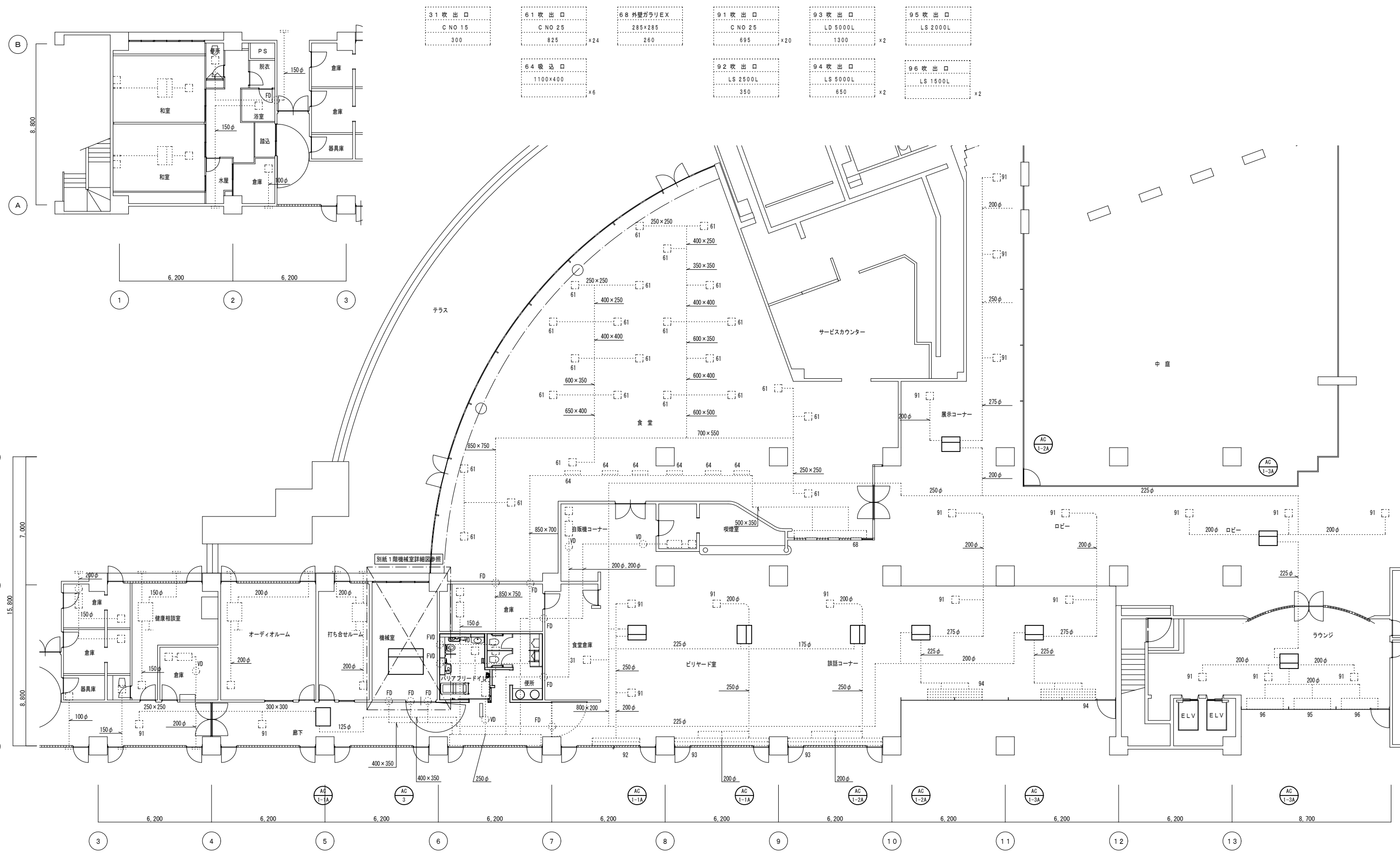
凡例	
記号	名称
—R—	(撤去) 冷媒配管
—D—	(撤去) 空調ドレン配管
---D---	(残置) 空調ドレン配管

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	9.5φ
(B)	6.4φ	12.7φ
(C)	9.5φ	15.9φ
(D)	9.5φ	19.1φ
(E)	9.5φ	22.2φ
(F)	9.5φ	25.4φ
(G)	12.7φ	19.1φ
(H)	12.7φ	22.2φ
(I)	12.7φ	25.4φ
(J)	12.7φ	28.6φ
(K)	15.9φ	28.6φ



- 注記)
1. 図中実線部の機器、配管は全て撤去とする。
 2. 〇は、ドレン管(25A)の切筋箇所を示す。
 3. 室内外機渡り配線(CVVS-2.0-3C)は、撤去とする。

受託者名		(株)総合設備コンサルタント		図面番号	M-14
九州事務所				縮尺	
業務完了年月日	令和2年 月 日	工務	九州センター空調設備更新工事	A1:S:1/100	
管理技術者	技術者	製図		A3:S:1/200	
		図面名称		空調設備 1階平面図(配管)(撤去)	
				九州センター	
				令和 年 月	



31 吹出口 C NO 15 300	61 吹出口 C NO 25 825 x24	68 外壁ガリEX 285x285 260	91 吹出口 C NO 25 695 x20	93 吹出口 LD 5000L 1300 x2	95 吹出口 LS 2000L
	64 吸込口 1100x400 x6		92 吹出口 LS 2500L 350	94 吹出口 LS 5000L 650 x2	96 吹出口 LS 1500L x2

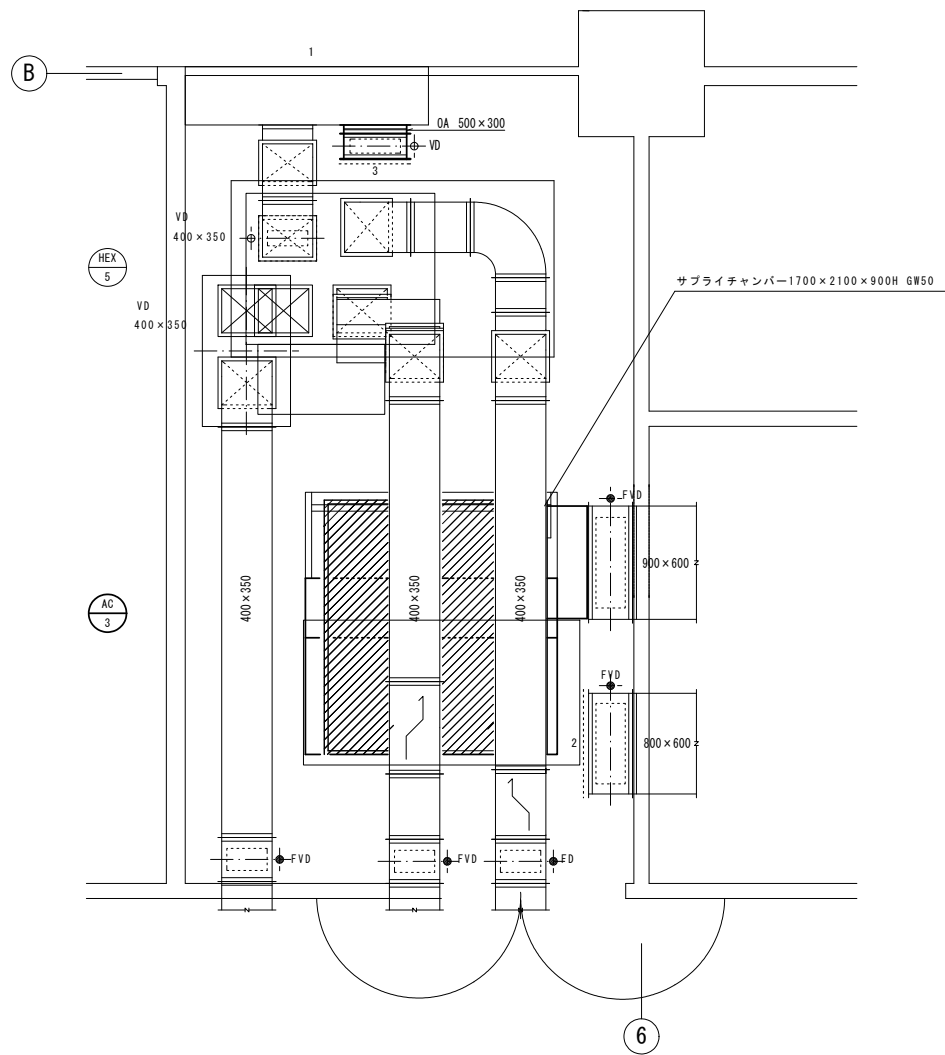
注記)
 1. 図中の実線部は撤去範囲を示し、破線部は既設のままとする。
 2. 更新機器前後のダクト0.5mの撤去を見込む。

受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	M-15
業務完了年月日	令和 2年 月 日	工務	九州センター空調設備更新工事	縮尺	A1:S:1/100 A3:S:1/200
管理技術者	技術者	製図	図面名称	電設機 空調設備 1階平面図(ダクト)(撤去)	九州センター
					令和 年 月

1 外壁ガラス
2080×1650

2 吹き出口
クリンブ800×600
17200

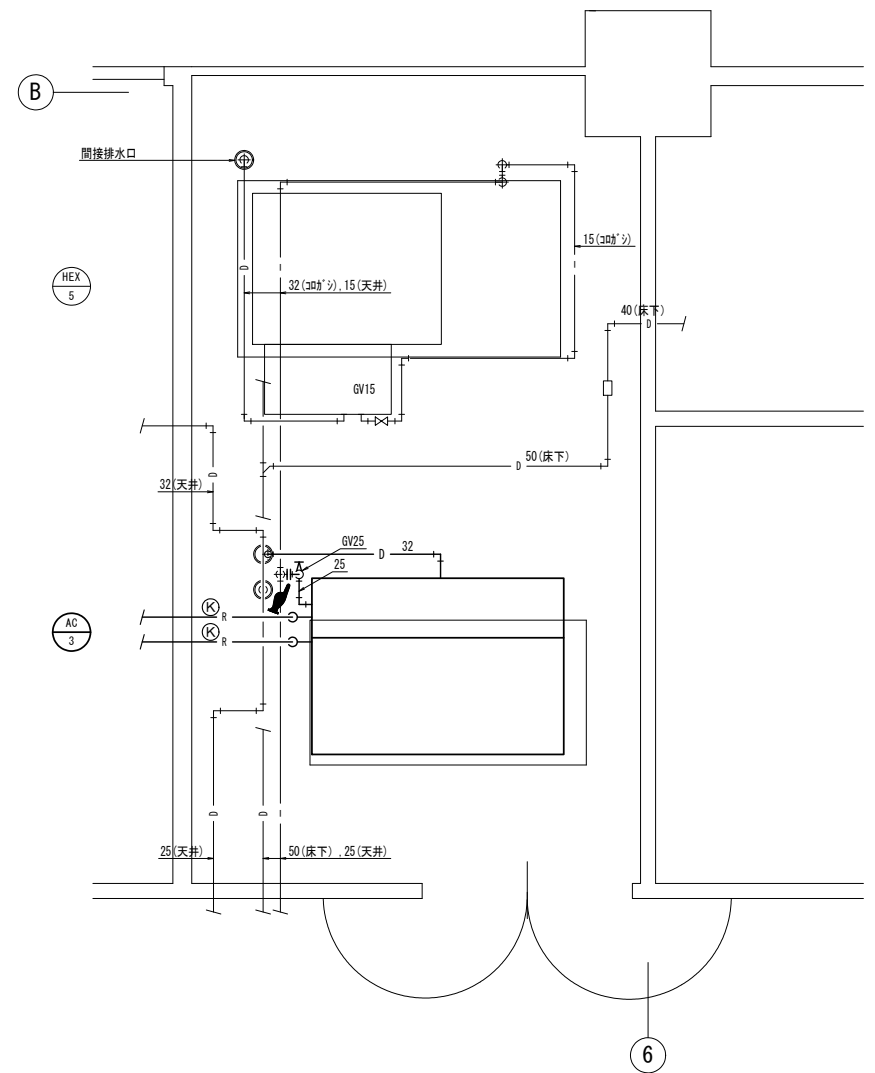
3 吹き出口
クリンブ500×300
2600



空調設備 1階機械室詳細図 (ダクト) S=1/30

冷媒管リスト

記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	9.5φ
(B)	6.4φ	12.7φ
(C)	9.5φ	15.9φ
(D)	9.5φ	19.1φ
(E)	9.5φ	22.2φ
(F)	9.5φ	25.4φ
(G)	12.7φ	19.1φ
(H)	12.7φ	22.2φ
(I)	12.7φ	25.4φ
(J)	12.7φ	28.6φ
(K)	15.9φ	28.6φ



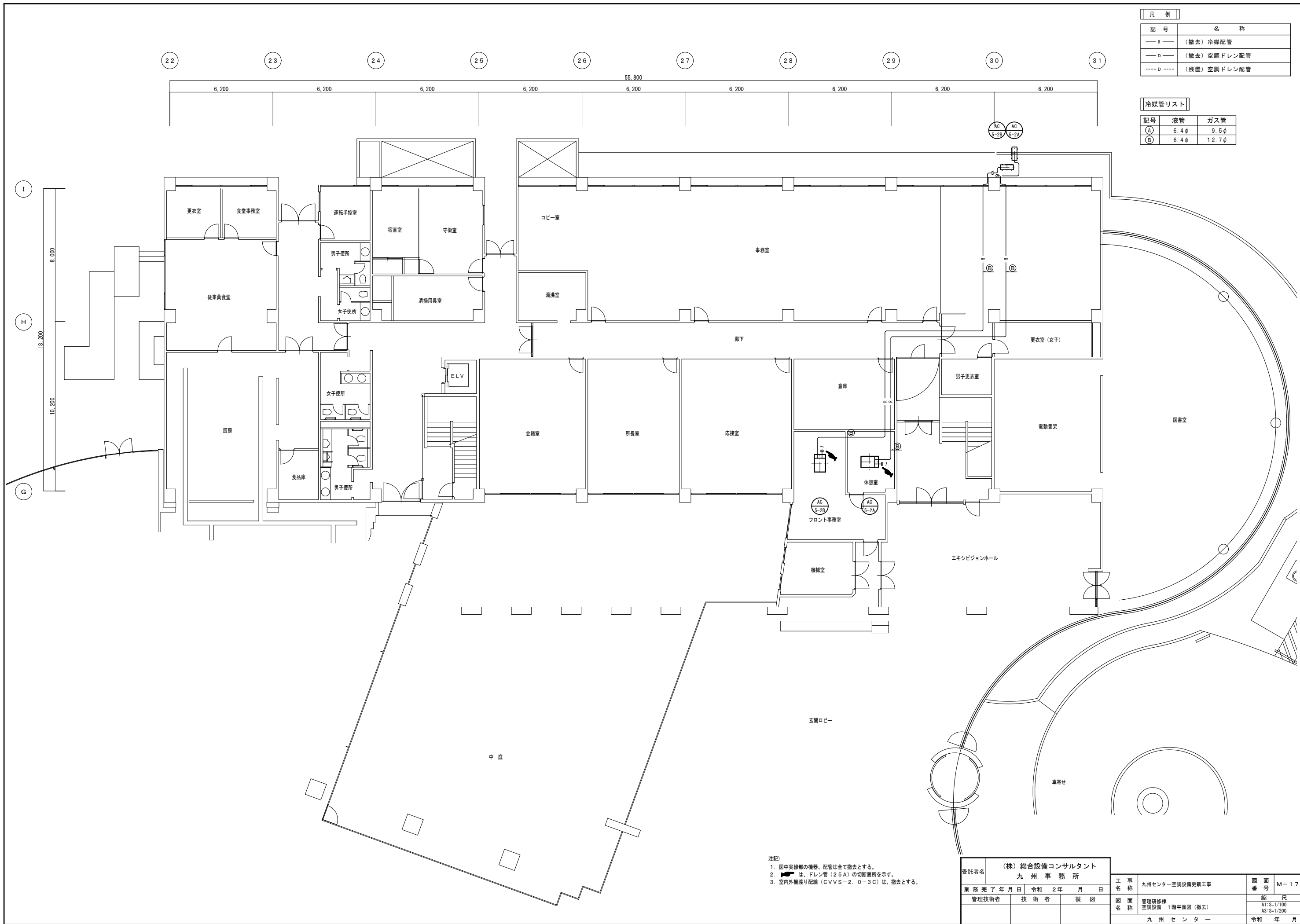
空調設備 1階機械室詳細図 (配管) S=1/30

- 注記)
- 図中の太線部は撤去範囲を示し、細線部は既設のままとする。
 - は、加湿給水管 (2.5A) の切断箇所を示す。
 - 室内外機渡り配線 (CVVS-1.25-2C) は、撤去とする。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	M-16
業務完了年月日	令和 2年 月 日	工務名称	九州センター空調設備更新工事	縮尺	M-16
管理技術者	技術者	製図	図面名称	雷治機 空調設備 1階機械室詳細図 (撤去)	A1:S=1/30 A3:S=1/60
			九州センター	令和 年 月	

凡例	
記号	名称
— R —	(撤去)冷媒配管
— D —	(撤去)空調ドレン配管
--- D ---	(残置)空調ドレン配管

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	9.5φ
(B)	6.4φ	12.7φ



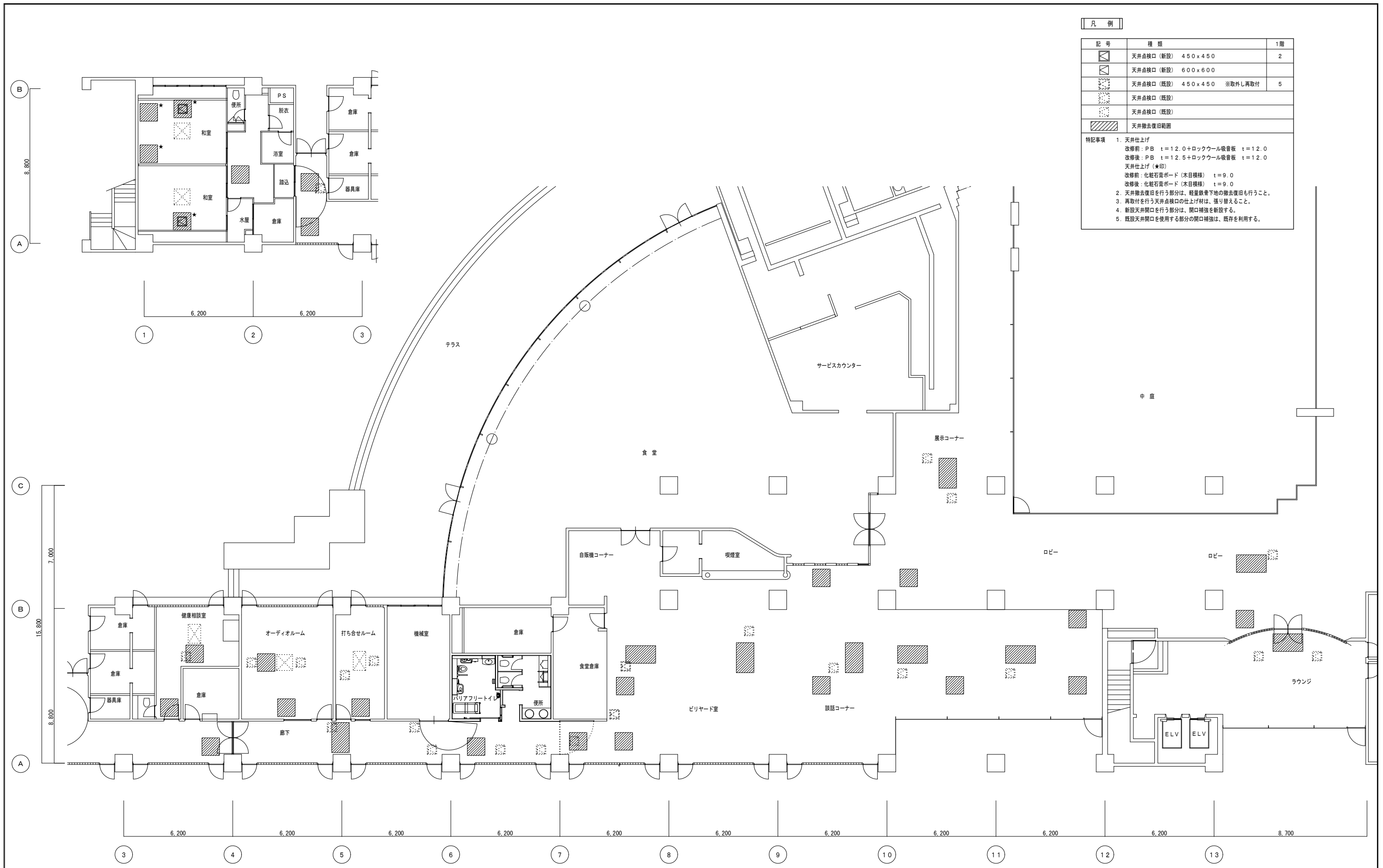
- 注記)
1. 図中実線部の機器、配管は全て撤去とする。
 2. 〓 は、ドレン管 (25A) の切断箇所を示す。
 3. 室内外機送り配線 (CVVS-2.0-3C) は、撤去とする。

受託者名	(株)総合設備コンサルタント		図面号	M-17
九州事務所	工名	九州センター空調設備更新工事	縮尺	A1:S:1/100
業務完了年月日	令和 2年 月 日	製図	A3:S:1/200	
管理技術者	技術者		図面名称	空調設備 1階平面図 (撤去)
			九州センター	令和 年 月

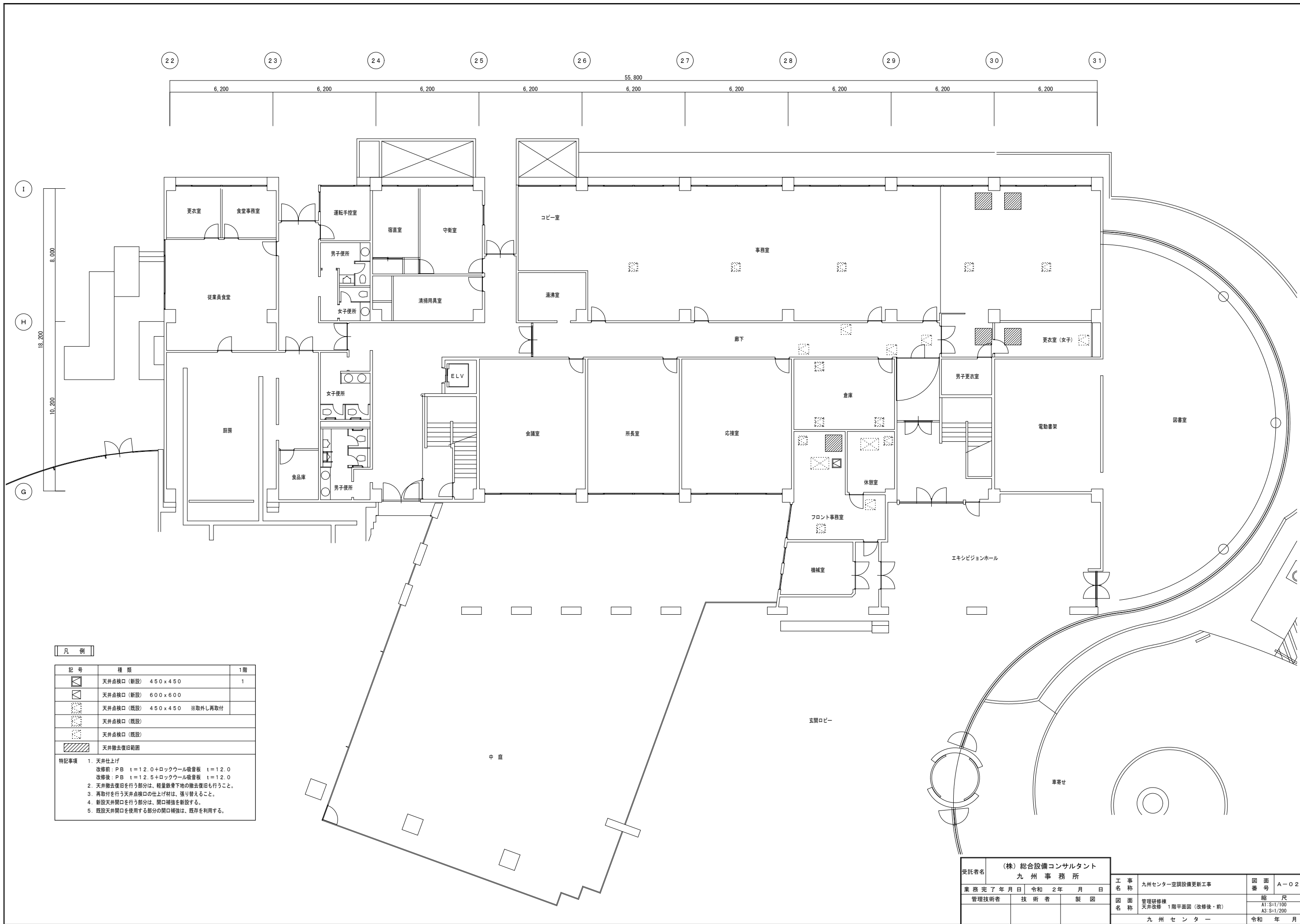
凡例

記号	種類	1階
	天井点検口(新設) 450x450	2
	天井点検口(新設) 600x600	
	天井点検口(既設) 450x450 ※取外し再取付	5
	天井点検口(既設)	
	天井点検口(既設)	
	天井撤去復旧範囲	

- 特記事項
- 天井仕上げ
 改修前: PB t=12.0+ロックウール吸音板 t=12.0
 改修後: PB t=12.5+ロックウール吸音板 t=12.0
 天井仕上げ(★印)
 改修前: 化粧石膏ボード(木目模様) t=9.0
 改修後: 化粧石膏ボード(木目模様) t=9.0
 - 天井撤去復旧を行う部分は、軽量鉄骨下地の撤去復旧も行うこと。
 - 再取付を行う天井点検口の仕上げ材は、張り替えること。
 - 新設天井開口を行う部分は、開口補強を新設する。
 - 既設天井開口を使用する部分の開口補強は、既存を利用する。



受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	A-01
業務完了年月日	令和2年	月	日	工務	九州センター空調設備更新工事
管理技術者	技術者	製図		図面名称	雷治楼 1階平面図(改修後・前) 天井改修
					九州センター
				縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200
					令和 年 月



凡例

記号	種類	1階
◻	天井点検口 (新設) 450 x 450	1
◻	天井点検口 (新設) 600 x 600	
◻	天井点検口 (既設) 450 x 450 ※取外し再取付	
◻	天井点検口 (既設)	
◻	天井点検口 (既設)	
◻	天井撤去復旧範囲	

特記事項

- 天井仕上げ
 改修前: PB t=12.0+ロックウール吸音板 t=12.0
 改修後: PB t=12.5+ロックウール吸音板 t=12.0
- 天井撤去復旧を行う部分は、軽量鉄骨下地の撤去復旧も行うこと。
- 再取付を行う天井点検口の仕上げ材は、張り替えること。
- 新設天井開口を行う部分は、開口補強を新設する。
- 既設天井開口を使用する部分の開口補強は、既存を利用する。

受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所		図面番号	A-02
業務完了年月日	令和 2年 月 日	製図	縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200
管理技術者	技術者	製図	図面名称	九州センター
			工名	九州センター空調設備更新工事
			図面名称	管理研修棟 天井改修 1階平面図 (改修後・前)
			令和 年 月	

電気設備工事特記事項

I. 工事名称 九州センター 空調設備更新工事

II. 工事概要

1. 総合発注の有無 本工事は、以下の工事を含む。(詳細は、図面参照のこと)

- ・ 機械設備工事

2. 工事場所 福岡県北九州市八幡東区平野2丁目2-1

3. 建物概要

Table with 6 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延面積 (㎡), 防火対象物の種別, 備考. Rows include 管理研修棟 and 宿泊棟.

4. 工事種目 (O印を付けたものを適用する)

Table with 6 columns: 工事種目, 建物別, 管理研修棟, 宿泊棟, 屋外, 備考. Lists various electrical equipment like lighting, power, and communication.

III. 工事仕様

1 適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

- (1) 「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
(2) 「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
(3) 「公共建築工事標準仕様書(建築工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
(4) 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
(5) 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
(6) 「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
(7) 「公共住宅建設工事共通仕様書(平成25年版)」 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者との協議すること。

2 補足基準等

適用仕様等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準図等による。

- (1) 「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
(2) 「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
(3) 「建築工事標準詳細図(建築工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
(4) 「電気設備工事監理指針(令和元年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
(5) 「機械設備工事監理指針(令和元年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
(6) 「建築工事監理指針(令和元年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
(7) 「建築改修工事監理指針(令和元年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
(8) 「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」 独立行政法人 建築研究所監修
(9) 「建築工事安全施工技術指針・同解説」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
(10) 「建設廃棄物処理指針」 厚生労働省生活衛生局
(11) 「建築物解体等に係るアスベスト飛散防止対策マニュアル」 環境省大気保全局(環境省アスベスト飛散防止対策研究会)

(12) 「建築工事の手引き」 福岡県建築都市部編集

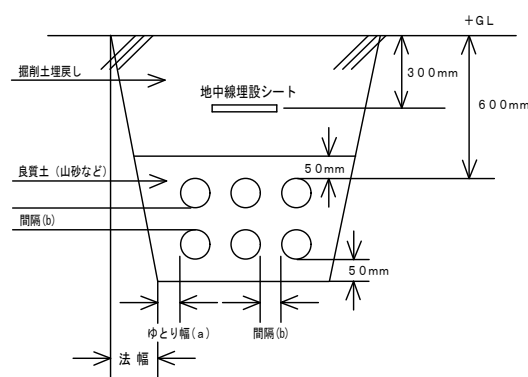
年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更、又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者との協議すること。

- 3 特記仕様
(1) 項目は、O印のついたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、O印のついたものを適用する。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項. Contains detailed requirements for materials, electrical work, safety, and equipment.

20. 地中埋設配管 (GL-600の場合)



・ 根切り深さが1.5m未満の場合は直掘工法とし、1.5m以上の場合には法付工法とする。
法付工法の法幅は、根切り深さに0.3を乗じたものとする。
・ 床幅は、埋設管類などの外径(底面)の寸法にゆとり幅×2を加えたものとする。
ゆとり幅(a)及び埋設管相互の間隔(b)は、下表を参照のこと。

Table with 6 columns: ゆとり幅(a), 根切り深さ, 埋設管の種類, 埋設管の呼び径, 間隔(b). Lists dimensions for different cable types and depths.

強電配線・弱電配線・その他配管について、定められた間隔を考慮すること。
多束敷設により埋設管同士を密着させる場合は、「JIS C 3653(附属書含む)」及び「電気設備に関する技術基準を定める省令」における関連事項に適合した資材の使用、及び施工を行うこと。
また、電線相互の接近により誘導障害が生じるおそれがある場合は、多束敷設は行わないこと。

21. 接地極

接地極の材料は下表による。接地極の近くに接地極埋設標90×140×1.5t(黄銅製・刻印)を設置すること。
なお、接地棒 EB(14)φの長さは1,500mm以上とし、10φ×14φは、W=40として差し支えない。

Table with 4 columns: 接地の種類, 記号, 接地抵抗値, 接地極. Lists specifications for different types of grounding electrodes.

避雷設備の接地抵抗値は、総合抵抗とする。

22. 構内交換設備工事範囲

本工事における構内交換設備の工事範囲は、以下のとおりとする。
・ 構内交換装置 ・ 電話機取付け (台)
・ 配管配線まで本工事 ・ 配管のみ本工事 ・ 配線のみ本工事

23. 電話機への配線

電話機1台につき次のものを見込む。
・ T1VF(T1VE) 0.65-2C m ・ EM-T1EF(T1EE) 0.65-2C m
・ EB1 0.4-2P m ・ EM-BT1EE 0.4-2P m
・ 2号ワイヤプロテクタ m

24. 構内情報通信網設備工事範囲

本工事における構内情報通信網設備の工事範囲は、以下のとおりとする。
・ 構内情報通信網装置 ・ ネットワーク管理装置 ・ 配管配線まで本工事
・ 配管のみ本工事

25. LANケーブルの色

・ 幹線LAN: 赤色 ・ 枝線LAN: 黄色 ・ 生徒LAN: 水色
・ 認証ネットワーク: 指定なし ・ その他: 指定なし

26. 機器と配線の接続

拡声設備において、増幅器などの入出力路と配線との接続は、コネクタなどを取付けて行うこと。

27. インターロック

自動火災報知設備において、感知器が作動した場合に受信機及び運動制御機と連動して空調機並びに送排風機を停止させる。

28. ガス漏れ警報装置受信機

・ 単独 (・自立形 ・壁掛形)

29. ガス漏れ警報装置検知器

・ 液化石油ガス用 ・ 都市ガス用

30. 防犯設備工事範囲

・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整まで本工事

31. 躯体貫通箇所

躯体貫通箇所においては探査機を使用し、コンクリート内配筋を避け貫通すること。

32. 発電機回路コンセント

発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。

33. マンホールハンドホール蓋

蓋中央部に県章を刻印すること。また、用途別に「高圧」「電気」「弱電」の刻印をすること。

34. ブルボックス

屋外に設置するものには、事前に水抜き穴を設けること。

35. 建築副産物の処理について

資源の有効利用・環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制・再利用・適正処理を推進する。
現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。
また、「再生資源の利用の促進に関する法律」・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。
工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」(共に添付書類を含む)を提出すること。

Table with 2 columns: 指定副産物(原則として、再資源化施設へ持込むもの), その他の副産物. Lists types of construction byproducts.

特別管理産業廃棄物
・ 廃石綿等
「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」(環境省大気保全局)に従い、収集・運搬・処分を行うこと。

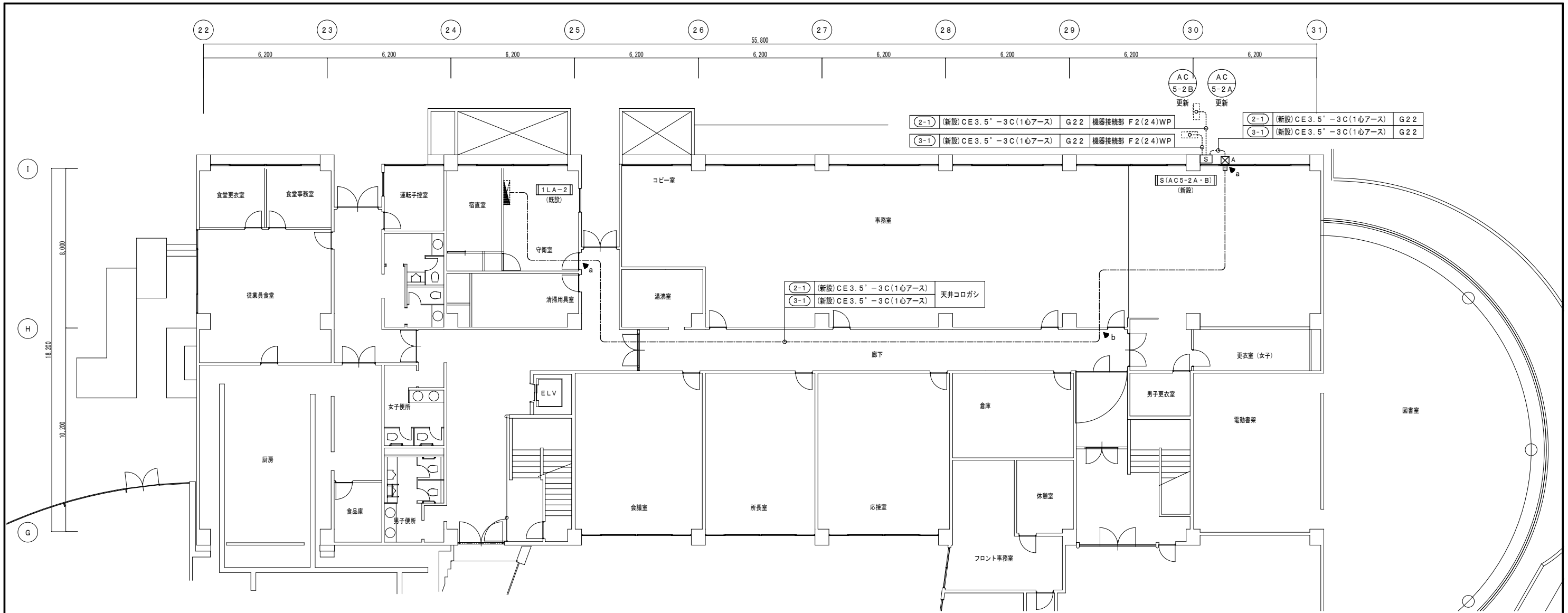
・ 廃PCB等
「電気事業法:電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・届出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※ 参考受入場所は、現場説明書による。

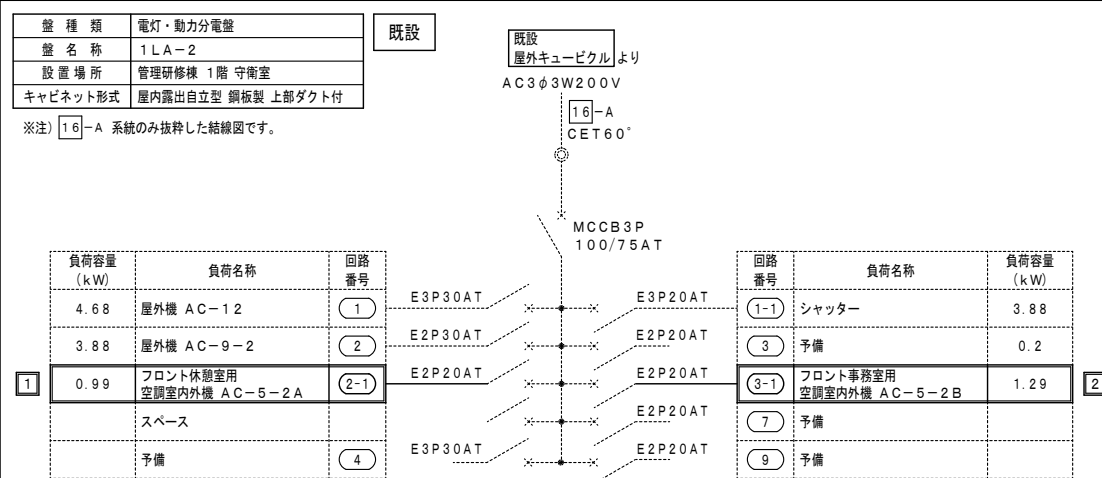
Table with 2 columns: 建築副産物の処理内容, 備考. Details the handling and disposal of construction byproducts.

36. その他

Project information table including contractor name (九州事務所), project name (九州センター 空調設備更新工事), dates, and drawing numbers.



管理研修棟 動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後) A1:S=1/100 A3:S=1/200



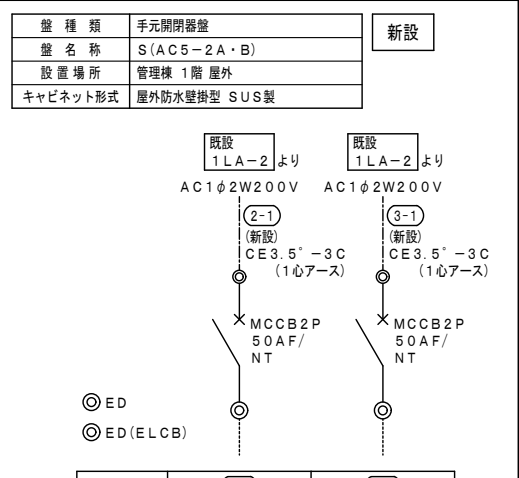
分電盤改修内容

1: 回路番号 (2-1) の負荷名称の変更を行う。(テブラ表示)

2: 回路番号 (3-1) の負荷名称の変更を行う。(テブラ表示)

凡例

E2P30AT	ELCB2P50AF/20AT	E3P20AT	ELCB3P50AF/20AT
E2P30AT	ELCB2P50AF/30AT	E3P30AT	ELCB3P50AF/30AT



回路番号	(2-1)	(3-1)
負荷名称	フロント休憩室用空調室内外機	フロント事務室用空調室内外機
負荷記号	AC-5-2A	AC-5-2B
定格出力 (kW)	COMP: 0.90 OFAN: 0.04 IFAN: 0.05	COMP: 1.20 OFAN: 0.04 IFAN: 0.05
備考		

凡例

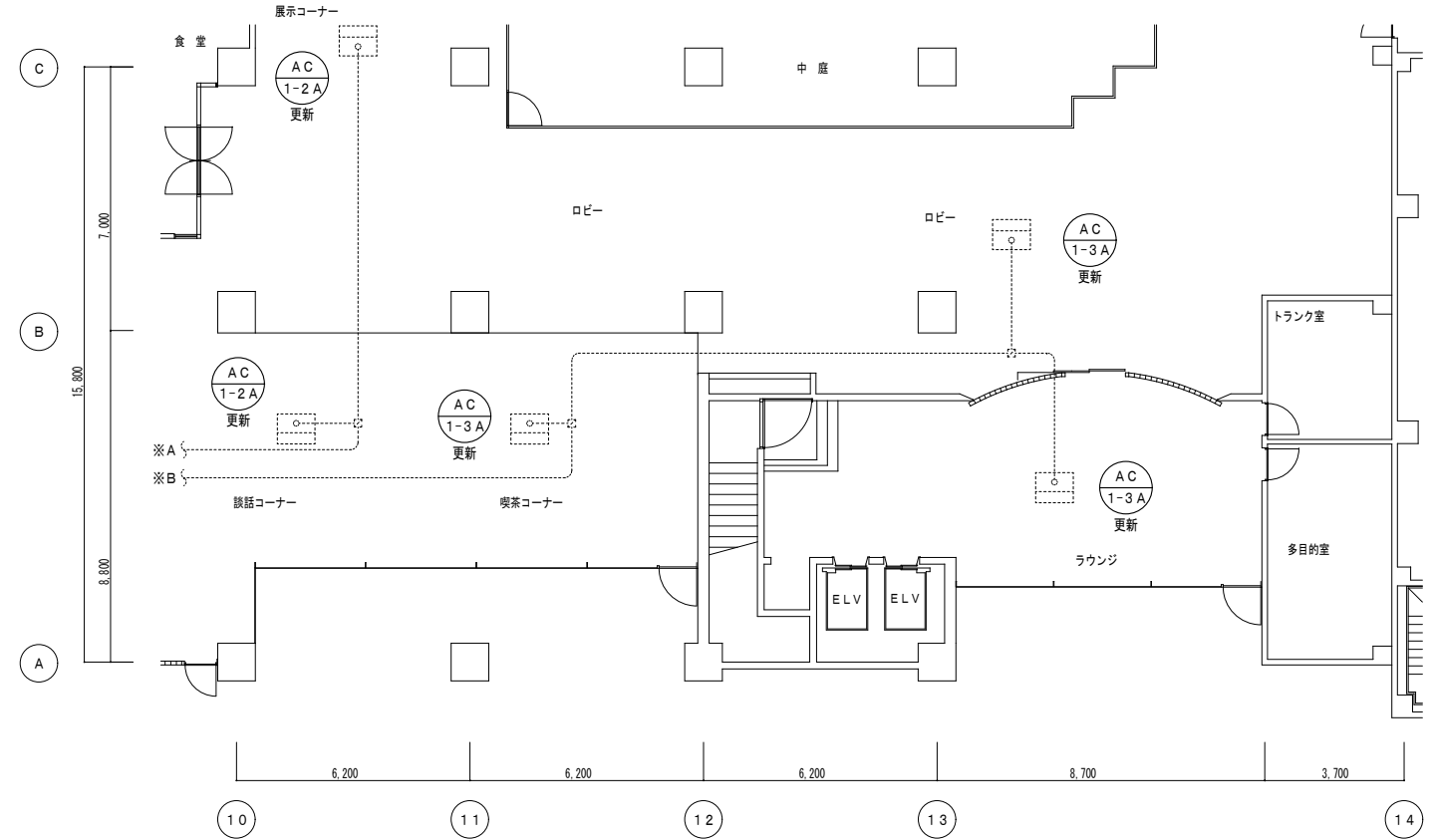
記号	名称 : 仕様
	電灯動力分電盤: 既設
	手元開閉器盤: 新設
	手元開閉器盤: 既設
<input type="checkbox"/>	アウトレットボックス
<input checked="" type="checkbox"/> A	プルボックス: 新設 SS150×150×150 (SUS・WP)
<input checked="" type="checkbox"/> B	プルボックス: 新設 SS300×300×200 (SUS・WP)
	コンクリート壁貫通補修: 壁厚200mm 径28φ
	コンクリート壁貫通補修: 壁厚200mm 径28φ 防火区画貫通処理含む
	コンクリート壁貫通補修: 壁厚200mm 径63φ
	ケーブルこしがし配線
	露出配管配線

注記

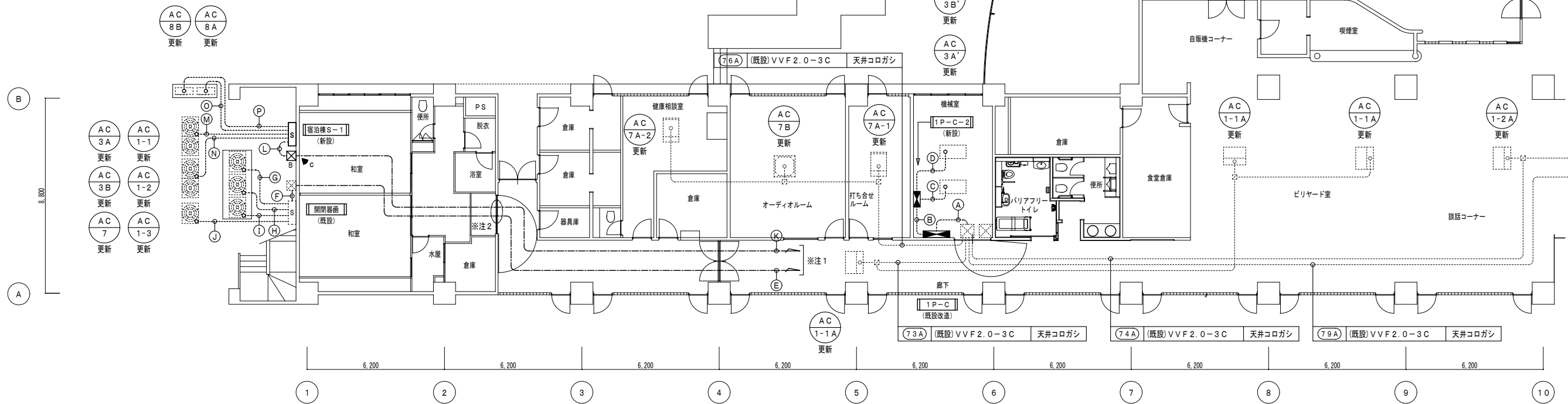
1. 図中、薄点線部分は既設を示す。
2. 屋外露出部分の厚鋼電線管 (G管) は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
3. 外壁を貫通してプルボックスを設置する部分については、貫通部分に防水処理を施すこと。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所		
業務完了年月日	令和2年	月	日
管理技術者	技術者	製図	
工事名	九州センター 空調設備更新工事	図面番号	E-02
図面名称	管理研修棟 動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後)	縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200
	九州センター	令和	年 月

ケーブルリスト		区間	配線サイズ	天井内 コロガシ	屋内露出 配管	屋外露出 配管	保護管	機器接続部	備考
記号	自	至							
A	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内機 AC-1-1A (新設)	(既設) VVF2.0-3C				(既設) E75	-	空調室内機電源 (73A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内機 AC-1-2A (新設)	(既設) VVF2.0-3C				(既設) E75	-	空調室内機電源 (74A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内機 AC-1-3A (新設)	(既設) VVF2.0-3C				(既設) E75	-	空調室内機電源 (79A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内機 AC-7A-1・2・7B (新設)	(既設) VVF2.0-3C				(既設) E75	-	空調室内機電源 (76A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'E8'				(既設) E75	-	空調室外機 (AC-1-1) 電源 (72A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'				(既設) E75	-	空調室外機 (AC-1-2) 電源 (71A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'				(既設) E75	-	空調室外機 (AC-1-3) 電源 (78A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CE8'-3C				(既設) E75	-	空調室外機 (AC-7) 電源 (75A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟 S-1 (新設)	(新設) CET38'E5.5' x 2				(既設) E75	-	空調室外機 (AC-3A・B) 電源 (75B)
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟 S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C				(既設) E75	-	空調室内外機 (AC-8A) 電源 (72B)
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟 S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C				(既設) E75	-	空調室内外機 (AC-8B) 電源 (73B)
	動力盤 1P-C (既設改造)	動力盤 1P-C-2 (新設)	(新設) 1E14' x 3 E5.5' x 2				(新設) E31	-	空調室内機 (AC-3A'・B') 電源 (71B)
B	動力盤 1P-C-2 (新設)	空調室内機 AC-3A' (新設)	(新設) 1E5.5' x 3 E5.5'			(新設) E25	(新設) F(24)	空調室内機 (AC-3A') 電源 (71B1)	
C	動力盤 1P-C-2 (新設)	空調室内機 AC-3B' (新設)	(新設) 1E5.5' x 3 E5.5'			(新設) E25	(新設) F(24)	空調室内機 (AC-3B') 電源 (71B2)	
D	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'E8'					空調室外機 (AC-1-1) 電源 (72A)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'					空調室外機 (AC-1-2) 電源 (71A)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'					空調室外機 (AC-1-3) 電源 (78A)	
E	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CE8'-3C					空調室外機 (AC-7) 電源 (75A)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'E8'					空調室外機 (AC-1-1) 電源 (72A)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'					空調室外機 (AC-1-2) 電源 (71A)	
F	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'					空調室外機 (AC-1-3) 電源 (78A)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CE8'-3C					空調室外機 (AC-7) 電源 (75A)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'E8'					空調室外機 (AC-1-1) 電源 (72A)	
G	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'					空調室外機 (AC-1-2) 電源 (71A)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'					空調室外機 (AC-1-3) 電源 (78A)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CE8'-3C					空調室外機 (AC-7) 電源 (75A)	
H	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) G42					空調室内機 (AC-3A') 電源 (71B)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) G42					空調室内機 (AC-3B') 電源 (71B)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) G28					空調室内機 (AC-3A') 電源 (71B)	
I	開閉器 (既設)	空調室外機 AC-1-1 (新設)	(新設) CET22'E5.5'				(新設) G36 (新設) F2(38)WP	空調室外機 (AC-1-1) 電源 (72A)	
	開閉器 (既設)	空調室外機 AC-1-2 (新設)	(新設) CET22'E5.5'				(新設) G36 (新設) F2(38)WP	空調室外機 (AC-1-2) 電源 (71A)	
	開閉器 (既設)	空調室外機 AC-1-3 (新設)	(新設) CET22'E5.5'				(新設) G36 (新設) F2(38)WP	空調室外機 (AC-1-3) 電源 (78A)	
J	開閉器 (既設)	空調室外機 AC-7 (新設)	(新設) CE5.5'-4C				(新設) G28 (新設) F2(30)WP	空調室外機 (AC-7) 電源 (75A)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟 S-1 (新設)	(新設) CET38'E5.5' x 2					空調室外機 (AC-3A・B) 電源 (75B)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟 S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C					空調室内外機 (AC-8A) 電源 (72B)	
K	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟 S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C					空調室内外機 (AC-8B) 電源 (73B)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟 S-1 (新設)	(新設) CET38'E5.5' x 2				(新設) G42	空調室外機 (AC-3A・B) 電源 (75B)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟 S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C				(新設) G22	空調室内外機 (AC-8A) 電源 (72B)	
L	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟 S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C				(新設) G22	空調室内外機 (AC-8B) 電源 (73B)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室外機 AC-3A (新設)	(新設) CET22'E5.5'				(新設) G36 (新設) F2(38)WP	空調室外機 (AC-3A) 電源 (75B1)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室外機 AC-3B (新設)	(新設) CET22'E5.5'				(新設) G36 (新設) F2(38)WP	空調室外機 (AC-3B) 電源 (75B2)	
M	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内外機 AC-8A (新設)	(新設) CE3.5'-3C				(新設) G22 (新設) F2(24)WP	空調室内外機 (AC-8A) 電源 (72B)	
	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内外機 AC-8B (新設)	(新設) CE3.5'-3C				(新設) G22 (新設) F2(24)WP	空調室内外機 (AC-8B) 電源 (73B)	
N	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内機 AC-3A' (新設)	(新設) 1E5.5' x 3 E5.5'				(新設) E25 (新設) F(24)	空調室内機 (AC-3A') 電源 (71B1)	
O	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内機 AC-3B' (新設)	(新設) 1E5.5' x 3 E5.5'				(新設) E25 (新設) F(24)	空調室内機 (AC-3B') 電源 (71B2)	
P	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CE8'-3C				(新設) G42	空調室外機 (AC-7) 電源 (75A)	



機器番号	台数	部屋名称	電源用分電盤	回路番号	工事内容
AC-1-1A	3	廊下、ピリヤード室	1P-C	73A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続
AC-1-2A	3	談話コーナー、展示コーナー	1P-C	74A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続
AC-1-3A	3	喫茶コーナー、ロビー、ラウンジ	1P-C	79A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続
AC-7A-1	1	打ち合せルーム	1P-C	76A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続
AC-7A-2	1	健康相談室	1P-C	76A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続
AC-7B	1	オーディオルーム	1P-C	76A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続

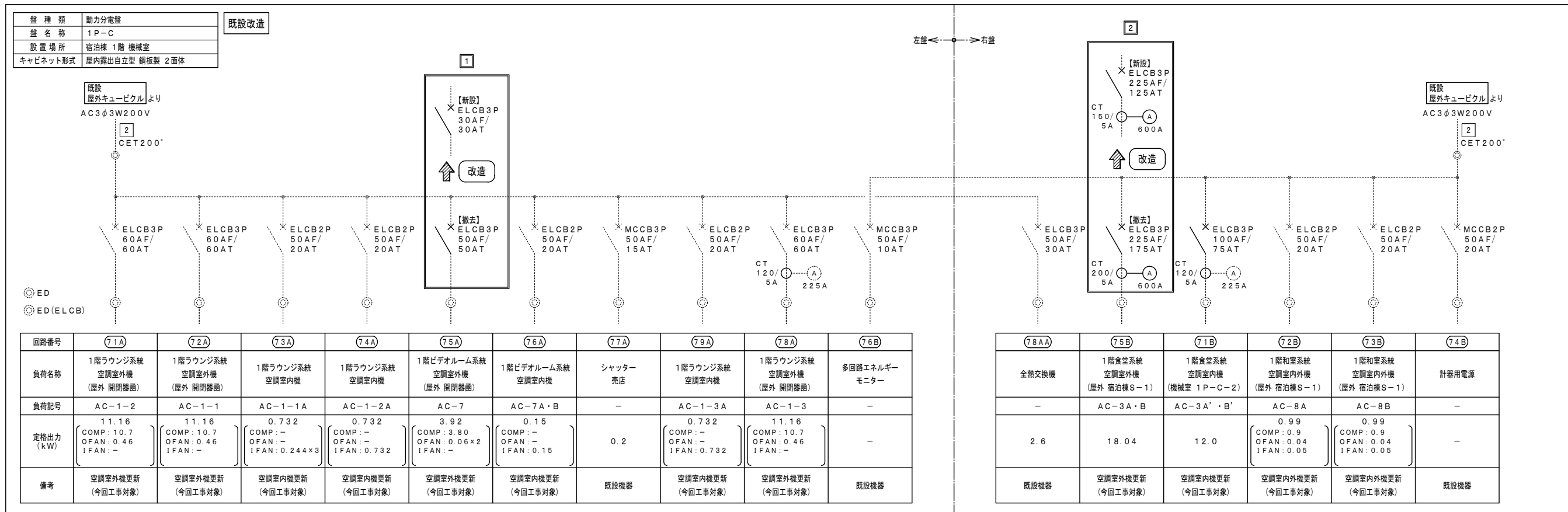


※注1：機械室内1P-Cへ至る。
機械室内へ入線部分の防火区画貫通処理は新たに施工を行うこと。(7.5φ x 2)

※注2：和室内へ入線部分の防火区画貫通処理は新たに施工を行うこと。(7.5φ x 2)

宿泊棟 動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後) A1: S=1/100 A3: S=1/200

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	E-03
業務完了年月日	令和2年	月	日	図面尺	A1: S=1/100
管理技術者	技術者	製図		図面尺	A3: S=1/200
				名称	九州センター 動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後)
					令和 年 月

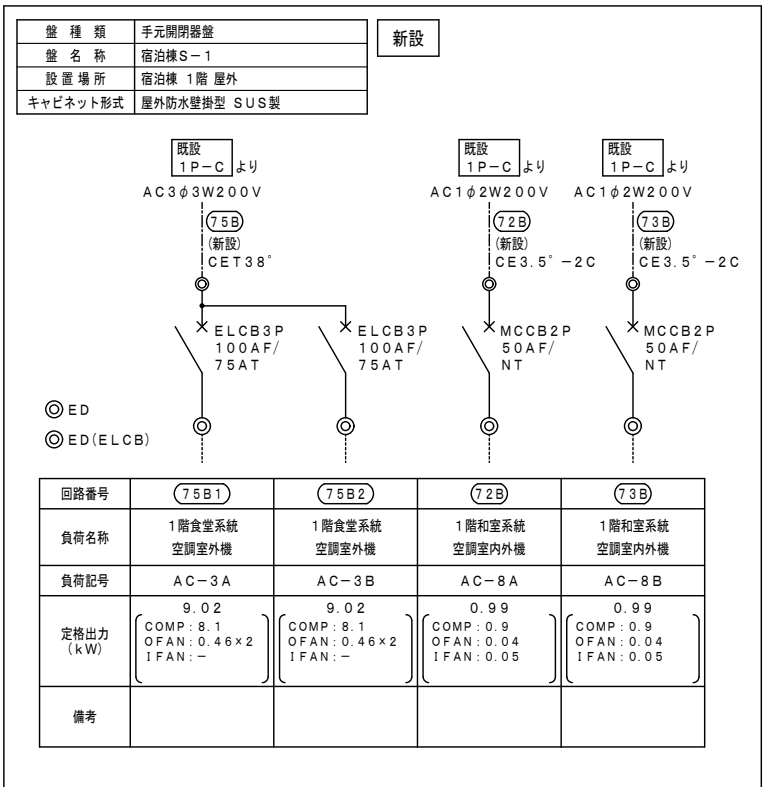
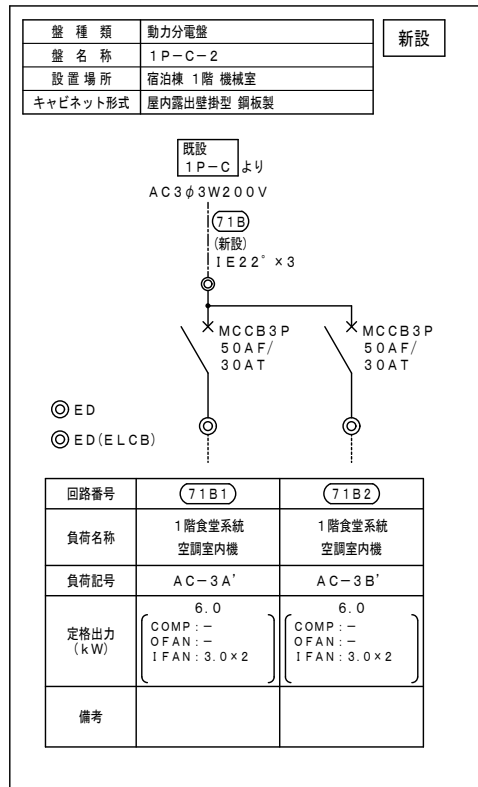


分電盤改造内容

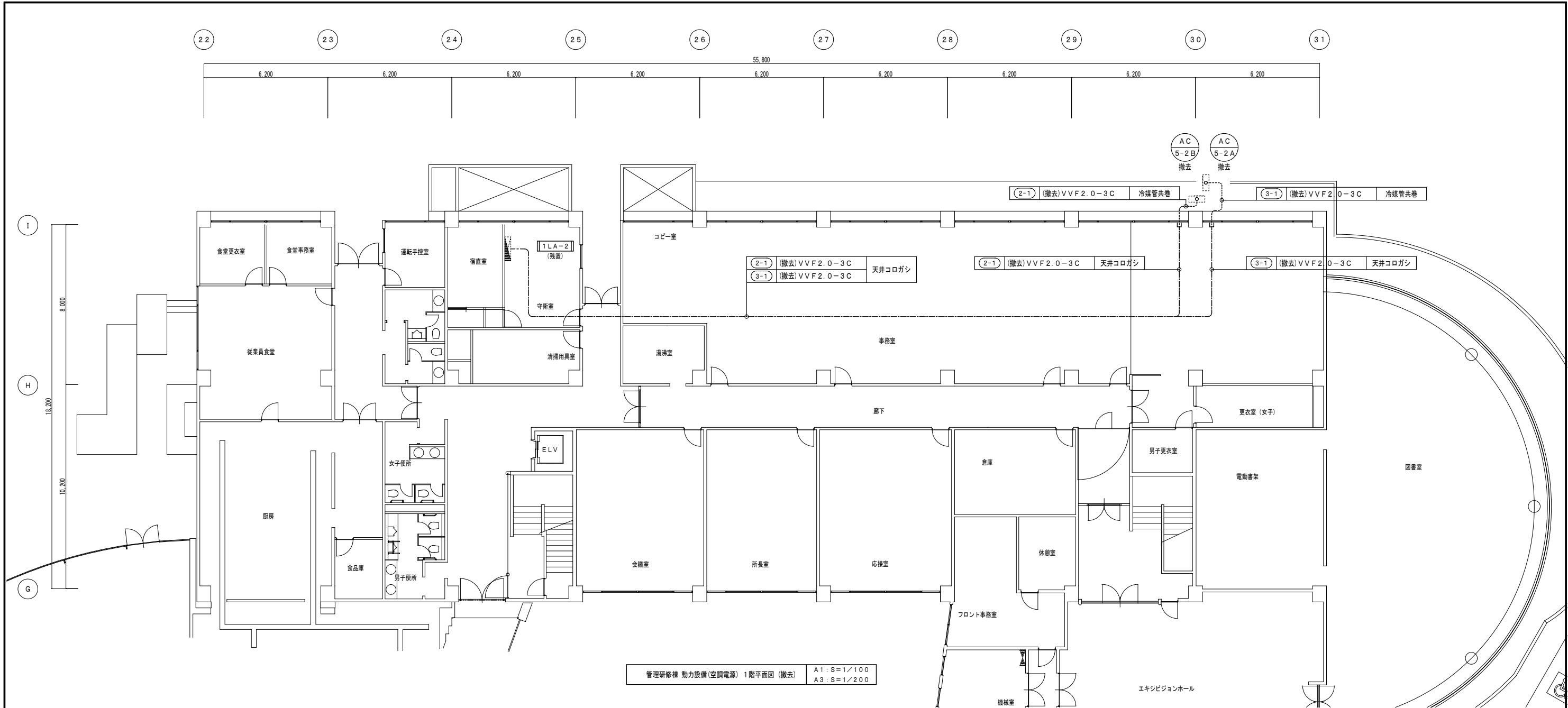
1 : 回路番号 (75A) のブレーカーの取替えを行う。

2 : 回路番号 (75B) のブレーカー・CT・電流計の取替えを行う。

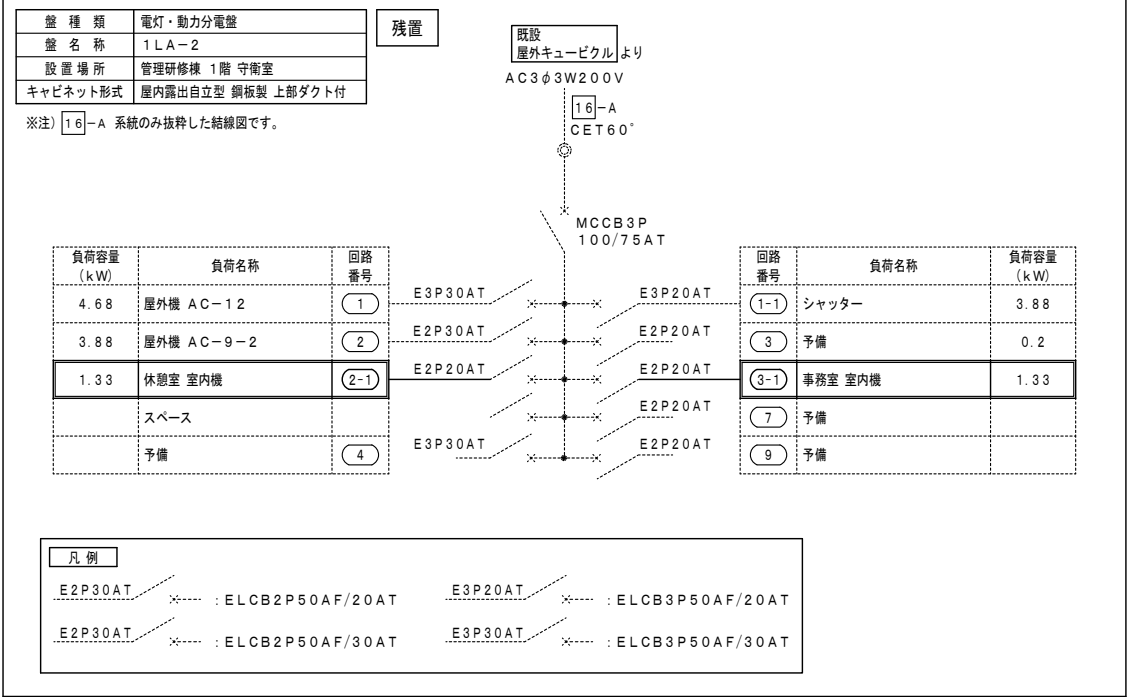
その他: 今回工事で改修する空調機の機器番号に合わせて各ブレーカの負荷名称の変更を行う。(テブラ表示)



受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	E-04
業務完了年月日	令和2年	月	日	縮尺	-
管理技術者	技術者	製図		図面名称	分電盤結線図 (改修後)
					九州センター
					令和 年 月



管理研修棟 動力設備(空調電源) 1階平面図 (撤去) A1:S=1/100
A3:S=1/200

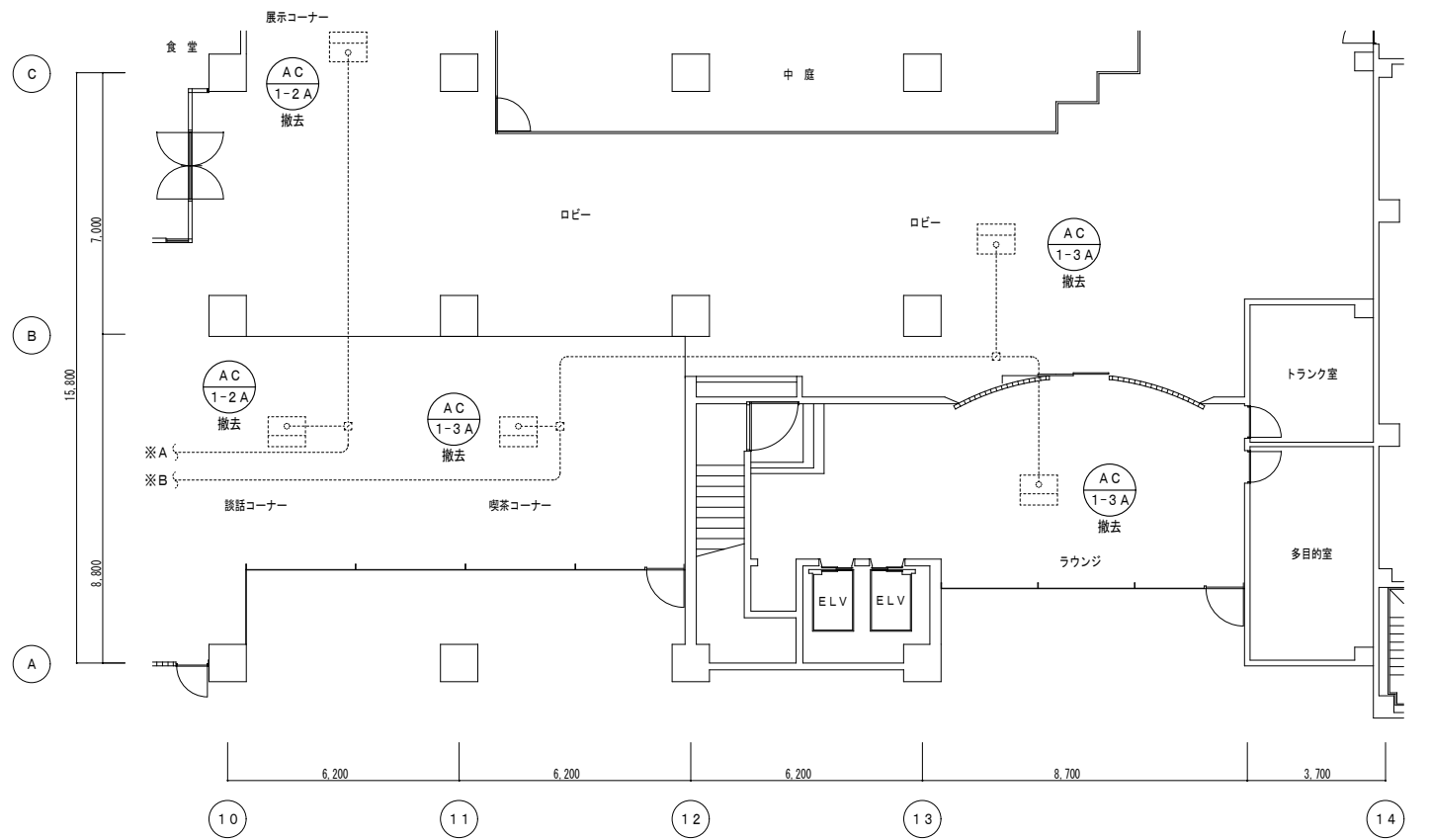


記号	名称 : 仕様
☒	電灯動力分電盤 : 残置
☒	動力分電盤 : 残置
☒ A	ブルボックス : 撤去 SS300×300×300 (鋼板製)
☒ B	ブルボックス : 撤去 SS150×150×100 (鋼板製)
---	ケーブルころがし配線
---	露出配管配線

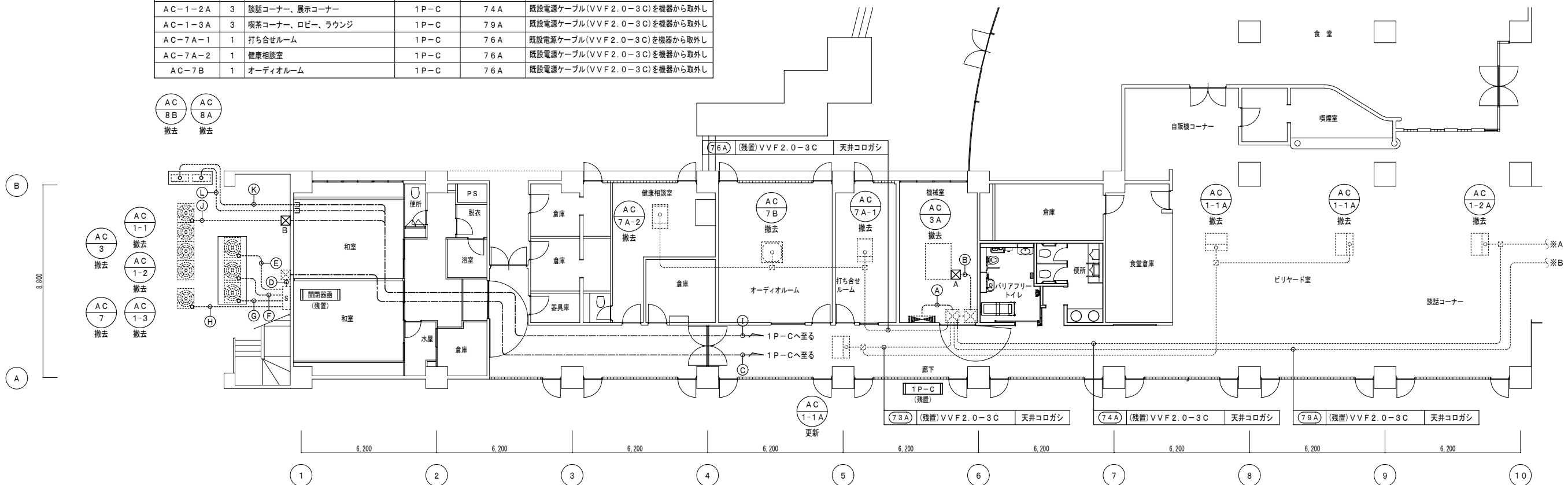
注記
1. 図中、特記なき太線部分は全て撤去とし、薄点線部分は残置を示す。

受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	E-05
業務完了年月日	令和2年	月	日	図面名称	管理研修棟
管理技術者	技術者	製図		縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200
				図面名称	動力設備(空調電源) 1階平面図 (撤去)
					九州センター
				令和	年

ケーブルリスト									
記号	区間		配線サイズ	天井内 コロガシ	冷暖管 共巻	屋外露出 配管	保護管	機器接続部	備考
	自	至							
A	動力盤 1P-C(残置)	空調室内機 AC-1-1A(撤去)	(残置) VVF2.0-3C						空調室内機電源 (73A)
	動力盤 1P-C(残置)	空調室内機 AC-1-2A(撤去)	(残置) VVF2.0-3C						空調室内機電源 (74A)
	動力盤 1P-C(残置)	空調室内機 AC-1-3A(撤去)	(残置) VVF2.0-3C						空調室内機電源 (79A)
	動力盤 1P-C(残置)	空調室内機 AC-7A-1・2・7B(撤去)	(残置) VVF2.0-3C				(残置) E75	-	空調室内機電源 (76A)
	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CVT38'E8'						空調室外機(AC-1-1)電源 (72A)
	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CVT38'E8'						空調室外機(AC-1-2)電源 (71A)
	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CVT38'E8'						空調室外機(AC-1-3)電源 (78A)
	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CV5.5'-3C E5.5'						空調室外機(AC-7)電源 (75A)
	動力盤 1P-C(残置)	空調室内機 AC-3(撤去)	(撤去) 1V14'x3E8'						空調室内機(AC-3)電源 (71B)
	動力盤 1P-C(残置)	空調室外機 AC-3(撤去)	(撤去) CVT38'E8'				(残置) E75	-	空調室外機(AC-3)電源 (75B)
	動力盤 1P-C(残置)	空調室内外機 AC-8A(撤去)	(撤去) VVF2.0-3C						空調室内外機(AC-8A)電源 (72B)
	動力盤 1P-C(残置)	空調室内外機 AC-8B(撤去)	(撤去) VVF2.0-3C						空調室内外機(AC-8B)電源 (73B)
B	動力盤 1P-C(残置)	空調室内機 AC-3(撤去)	(撤去) 1V14'x3E8'				(撤去) E31	-	空調室内機(AC-3)電源 (71B)
	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CVT38'E8'						空調室外機(AC-1-1)電源 (72A)
	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CVT38'E8'						空調室外機(AC-1-2)電源 (71A)
C	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CVT38'E8'						空調室外機(AC-1-3)電源 (78A)
	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CV5.5'-3C E5.5'						空調室外機(AC-7)電源 (75A)
	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CVT38'E8'				(残置) G42	-	空調室外機(AC-1-1)電源 (72A)
D	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CVT38'E8'				(残置) G42	-	空調室外機(AC-1-2)電源 (71A)
	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CVT38'E8'				(残置) G42	-	空調室外機(AC-1-3)電源 (78A)
	動力盤 1P-C(残置)	開閉器(残置)	(撤去) CV5.5'-3C E5.5'				(残置) G28	-	空調室外機(AC-7)電源 (75A)
E	開閉器(残置)	空調室外機 AC-1-1(撤去)	(撤去) CVT38'E8'				(撤去) F2(38)WP	空調室外機(AC-1-1)電源 (72A)	
F	開閉器(残置)	空調室外機 AC-1-2(撤去)	(撤去) CVT38'E8'				(撤去) G36 (撤去) F2(38)WP	空調室外機(AC-1-2)電源 (71A)	
G	開閉器(残置)	空調室外機 AC-1-3(撤去)	(撤去) CVT38'E8'				(撤去) G36 (撤去) F2(38)WP	空調室外機(AC-1-3)電源 (78A)	
H	開閉器(残置)	空調室外機 AC-7(撤去)	(撤去) CV5.5'-4C				(撤去) G22 (撤去) F2(24)WP	空調室外機(AC-7)電源 (75A)	
I	動力盤 1P-C(残置)	空調室内機 AC-3(撤去)	(撤去) CVT38'E8'					空調室内機(AC-3)電源 (75B)	
	動力盤 1P-C(残置)	空調室内外機 AC-8A(撤去)	(撤去) VVF2.0-3C					空調室内外機(AC-8A)電源 (72B)	
	動力盤 1P-C(残置)	空調室内外機 AC-8B(撤去)	(撤去) VVF2.0-3C					空調室内外機(AC-8B)電源 (73B)	
J	動力盤 1P-C(残置)	空調室内機 AC-3(撤去)	(撤去) CVT38'E8'				(撤去) G42 (撤去) F2(50)WP	空調室内機(AC-3)電源 (75B)	
K	動力盤 1P-C(残置)	空調室内外機 AC-8A(撤去)	(撤去) VVF2.0-3C					空調室内外機(AC-8A)電源 (72B)	
L	動力盤 1P-C(残置)	空調室内外機 AC-8B(撤去)	(撤去) VVF2.0-3C					空調室内外機(AC-8B)電源 (73B)	



空調室内機 電源工事					
機器番号	台数	部屋名称	電源用分電盤	回路番号	工事内容
AC-1-1A	3	廊下、ピリヤード室	1P-C	73A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器から取り外し
AC-1-2A	3	談話コーナー、展示コーナー	1P-C	74A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器から取り外し
AC-1-3A	3	喫茶コーナー、ロビー、ラウンジ	1P-C	79A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器から取り外し
AC-7A-1	1	打ち合せルーム	1P-C	76A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器から取り外し
AC-7A-2	1	健康相談室	1P-C	76A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器から取り外し
AC-7B	1	オーディオルーム	1P-C	76A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器から取り外し



宿舎棟 動力設備(空調電源) 1階平面図(撤去) A1:S=1/100 A3:S=1/200

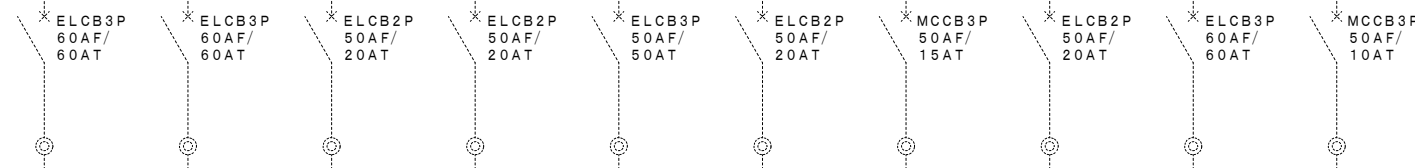
受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所		工事名	九州センター 空調設備更新工事	図面番号	E-06
業務完了年月日	令和2年 月 日		図面名称	宿舎棟 動力設備(空調電源) 1階平面図(撤去)	縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200
管理技術者	技術者	製図		九州センター	令和 年 月	

盤種類	動力分電盤
盤名称	1P-C
設置場所	宿泊棟 1階 機械室
キャビネット形式	屋内露出自立型 鋼板製 2面体

既設

既設
屋外キュービクルより
AC3φ3W200V

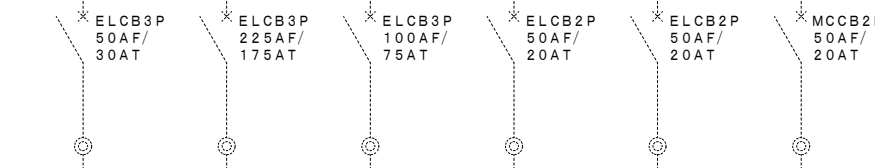
2
CET200*



左盤 ← → 右盤

既設
屋外キュービクルより
AC3φ3W200V

2
CET200*



回路番号	71A	72A	73A	74A	75A	76A	77A	79A	78A	76B
負荷名称	1階ラウンジ系統 空調室外機	1階ラウンジ系統 空調室外機	1階ラウンジ系統 空調室内機	1階ラウンジ系統 空調室内機	1階ビデオーム系統 空調室外機	1階ビデオーム系統 空調室内機	シャッター 売店	1階ラウンジ系統 空調室内機	1階ラウンジ系統 空調室外機	多回路エネルギー モニター
負荷記号	AC-1-2	AC-1-1	AC-1-1A	AC-1-2A	AC-7	AC-7A・B	-	AC-1-3A	AC-1-3	-
定格出力 (kW)	8.55 COMP: 8.2 OFAN: 0.35 IFAN: -	8.55 COMP: 8.2 OFAN: 0.35 IFAN: -	0.225 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.075×3	0.225 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.075×3	3.18 COMP: 2.8 OFAN: 0.35 IFAN: -	0.065 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.015×2 +0.035	0.2	0.225 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.075×3	8.55 COMP: 8.2 OFAN: 0.35 IFAN: -	-
備考										

回路番号	78AA	75B	71B	72B	73B	74B
負荷名称	全熱交換機	1階食堂系統 空調室外機	1階食堂系統 空調室内機	1階和室系統 空調室内機	1階和室系統 空調室内機	計器用電源
負荷記号	-	AC-3	AC-3	AC-8	AC-8	-
定格出力 (kW)	2.6	28.5 COMP: 8.2+5.3 OFAN: 8.2+5.3 IFAN: 0.38×4	11.0 COMP: - OFAN: - IFAN: 11.0	0.965 COMP: 0.9 OFAN: 0.03 IFAN: 0.035	0.965 COMP: 0.9 OFAN: 0.03 IFAN: 0.035	-
備考						

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター 空調設備更新工事	図面番号	E-07
業務完了年月日	令和2年	月	日	図面名称	宿泊棟 分電盤結線図 (既設)	縮尺	-
管理技術者	技術者	製図		名称	九州センター	令和	年 月